

第2回「県道 池田中町線を考える会」

議 事 次 第

日時：平成25年1月21日（月） 13：00～15：00

場所：隠岐合同庁舎6F大会議室

開 会

挨拶 （隠岐支庁県土整備局土木工務部 奥村部長）

議 事

1. アドバイザー紹介
2. 県道 池田中町線の現状と課題について（復習）
3. 住民アンケート調査結果について（説明）
4. 考えられる整備案（素案）（説明）
5. 意見交換
 - ・ 県道池田中町線の現状と課題について
 - ・ 住民アンケート調査結果について
 - ・ 考えられる整備案（素案）について 等
6. 今後の進め方

閉 会

第2回 「県道 池田中町線を考える会」

平成25年1月21日(月)
13:00～15:00

隠岐合同庁舎6F大会議室

第2回 「県道 池田中町線を考える会」

■開 会

■挨拶（隠岐支庁県土整備局土木工務部 奥村部長）

■議 事

1. アドバイザー紹介
2. 県道 池田中町線の現状と課題について（復習）
3. 住民アンケート調査結果について（説明）
4. 考えられる整備案（素案）（説明）
5. 意見交換
6. 今後の進め方

■閉 会

1. アドバイザー紹介

～第2回目からご出席の方をご紹介します～

■アドバイザー

橋本 成仁

岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授

西尾 博

道路建設課道路環境整備グループ グループリーダー

西村 成人

都市計画課計画グループ グループリーダー
(代理 藤原敏弘)

2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

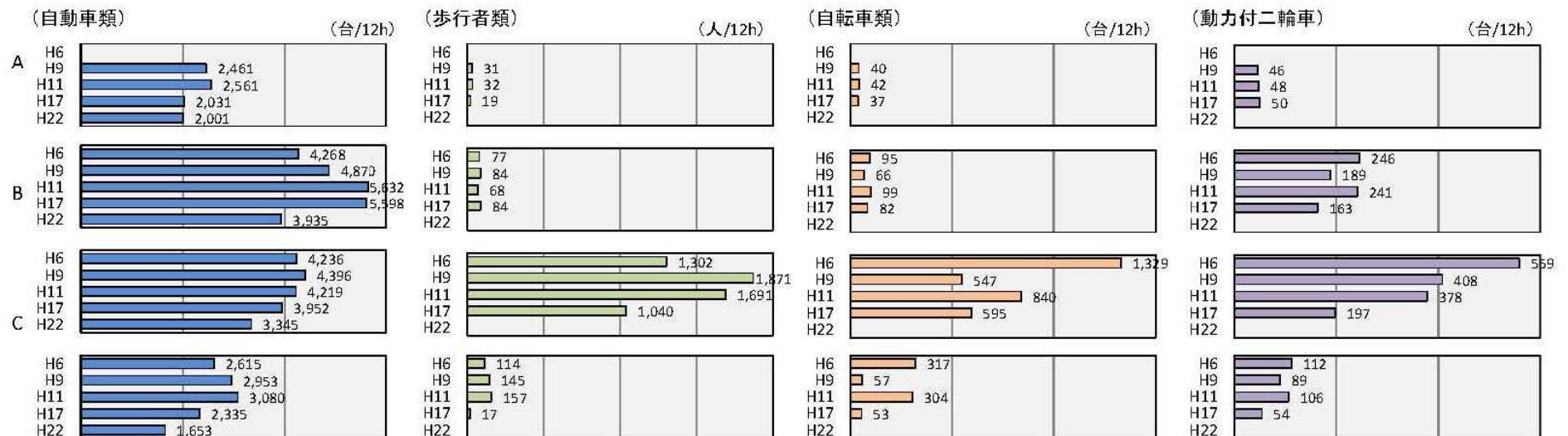
交通量

■対象路線周辺地域平日交通量(12h)

記号	路線名	交通量観測地点	年度	自動車類 (台/12h)	歩行者類 (人/12h)	自転車類 (台/12h)	動力付二輪 車
A	池田中町線	—	H6	—	—	—	—
"	"	隠岐郡西郷町有木	H9	2,461	31	40	46
"	"	"	H11	2,561	32	42	48
"	"	隠岐郡隠岐の島町有木19-3	H17	2,031	19	37	50
"	"	"	H22	2,001	—	—	—
b	一般国道485号	隠岐郡西郷町港町字大津28	H6	4,268	77	95	246
"	"	"	H9	4,870	84	66	189
"	"	隠岐郡西郷町港町字大津2-5-6	H11	5,632	68	99	241
"	"	隠岐郡隠岐の島町港町大津の一33-1	H17	5,598	84	82	163
B	一般国道485号	隠岐郡隠岐の島町下西	H22	3,935	—	—	—
C	一般国道485号	隠岐郡西郷町西町字八尾1-3-2	H6	4,236	1,302	1,329	559
"	"	"	H9	4,396	1,871	547	408
"	"	"	H11	4,219	1,691	840	378
"	"	隠岐郡隠岐の島町西町八尾1-3-2	H17	3,952	1,040	595	197
"	"	"	H22	3,345	—	—	—
D	西郷布施線	隠岐郡西郷町東郷宇小田56-1	H6	2,615	114	317	112
"	"	"	H9	2,953	145	57	89
d	"	隠岐郡西郷町東郷宇宮田78	H11	3,080	157	304	106
D	"	隠岐郡隠岐の島町東郷小田	H17	2,335	17	53	54
"	"	隠岐郡隠岐の島町東郷	H22	1,653	—	—	—



※b、dは平成17年度以前の観測地点



※参考値：当該路線 1,975台/12h(町調査)

2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

交通量



12H(7:00-19:00) 24H(7:00~翌7:00)

①<交通量 12H 24H>

乗用車	2,822	3,228台
大型車	127	129台
バイク	95	102台
歩行者	64	72人
自転車	48	48台

②<交通量 12H 24H>

乗用車	1,585	1,810台
大型車	27	44台
バイク	75	78台
歩行者	124	154人
自転車	81	88台

③<交通量 12H 24H>

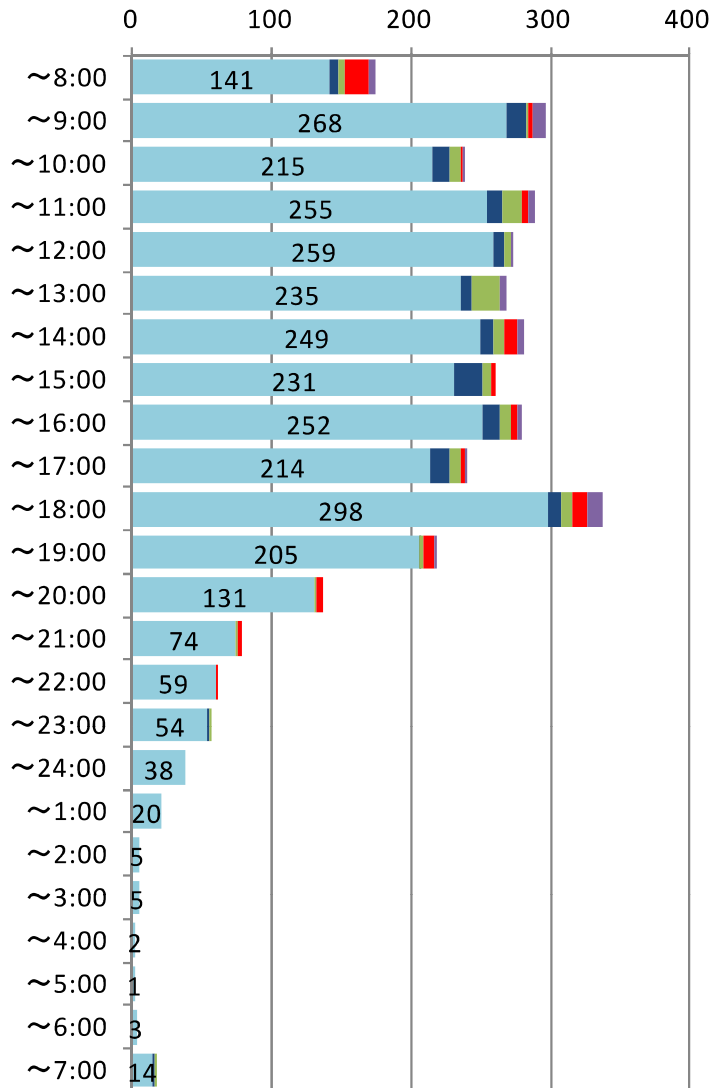
乗用車	1,557	1,800台
大型車	36	37台
バイク	75	77台
歩行者	299	379人
自転車	87	100台

2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

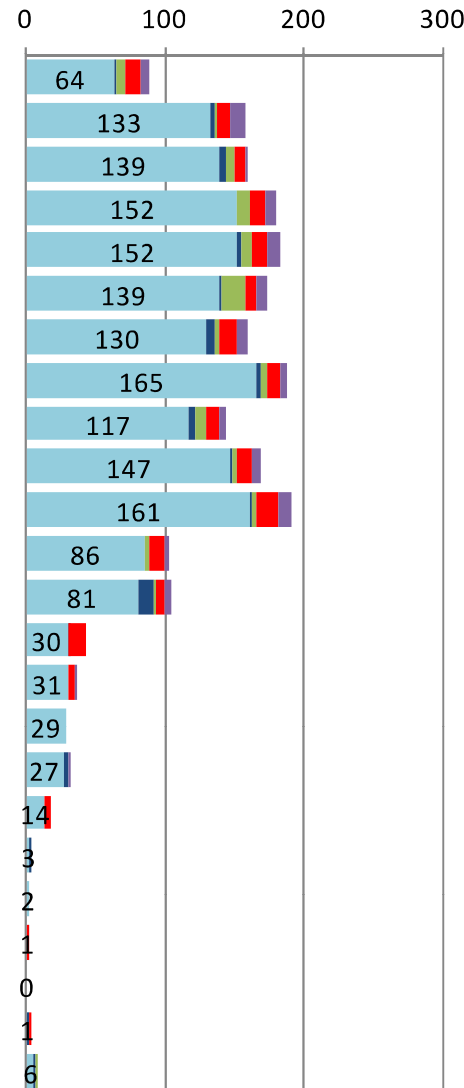
時間帯別
断面交通量

■時間帯別断面交通量

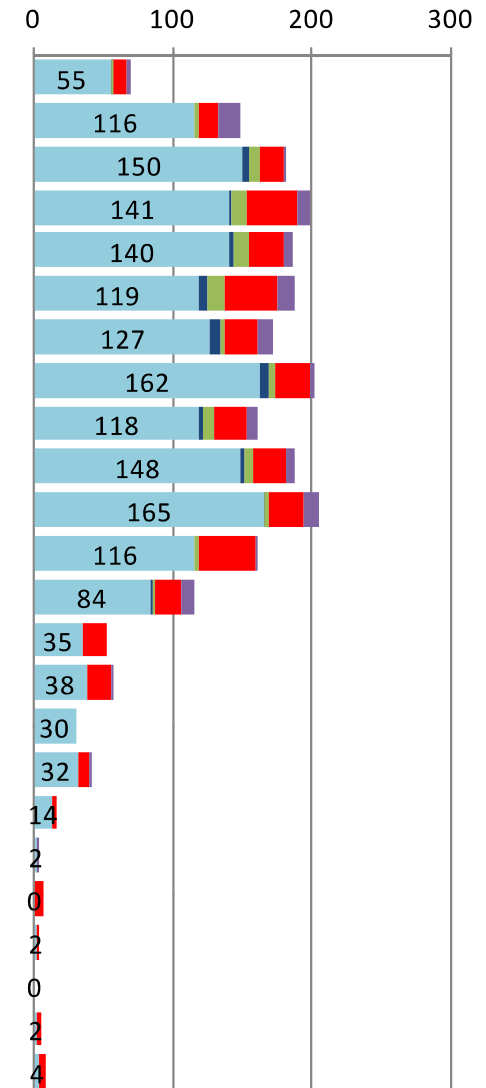
①ホンダカーズ前



②消防団中町倉庫前



③百万両前



乗用車・ワゴン トラック・特殊・バス バイク 歩行者 自転車

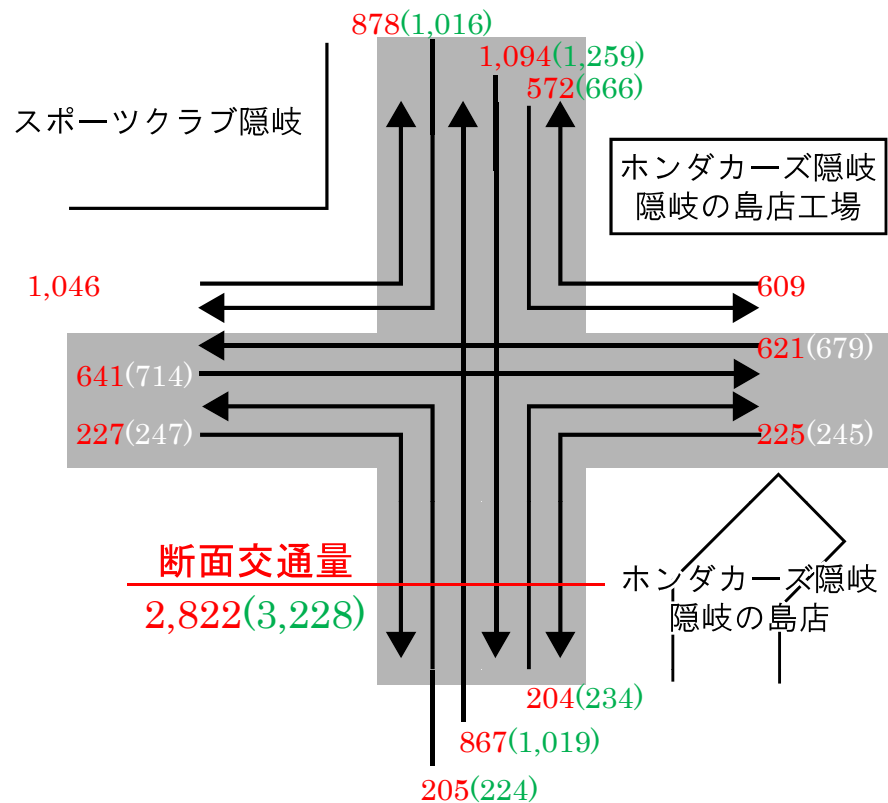
2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

方向別
乗用車

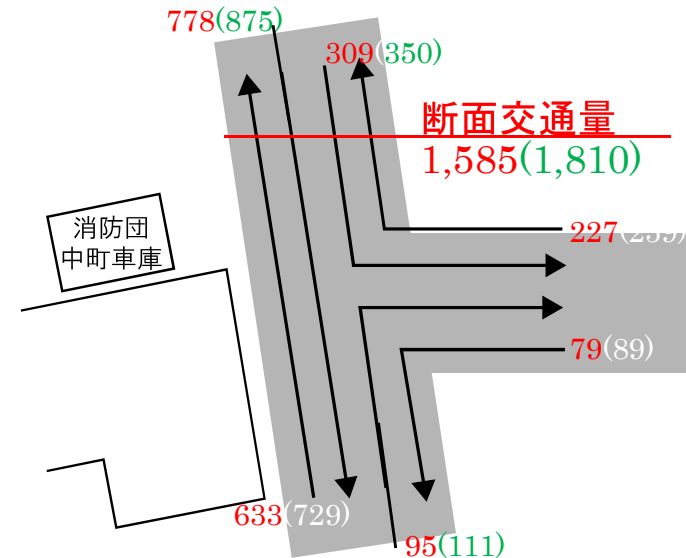
■乗用車の方向別交通量＜12H(24H)＞

12H(7:00-19:00) 24H(7:00～翌7:00)

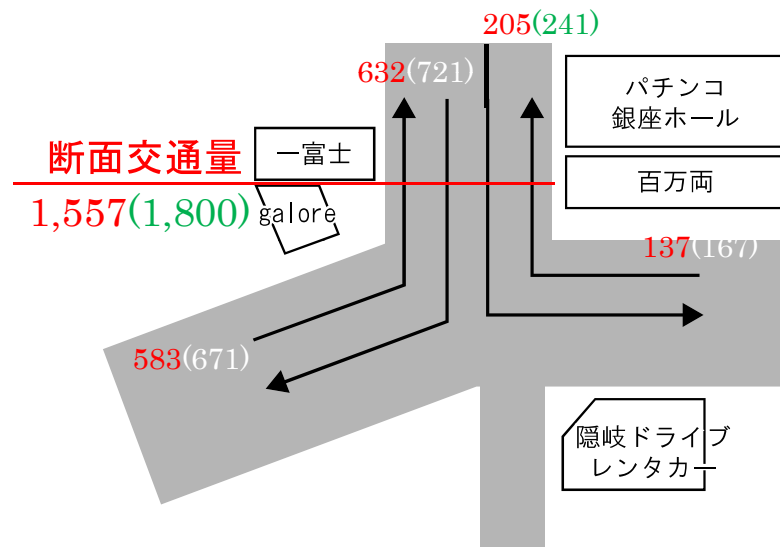
①ホンダカーズ前



②消防団中町倉庫前



③百万両前



2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

幅員



当該路線の幅員状況（道路台帳より）



凡例 道路幅員：m（車道部幅員：m）



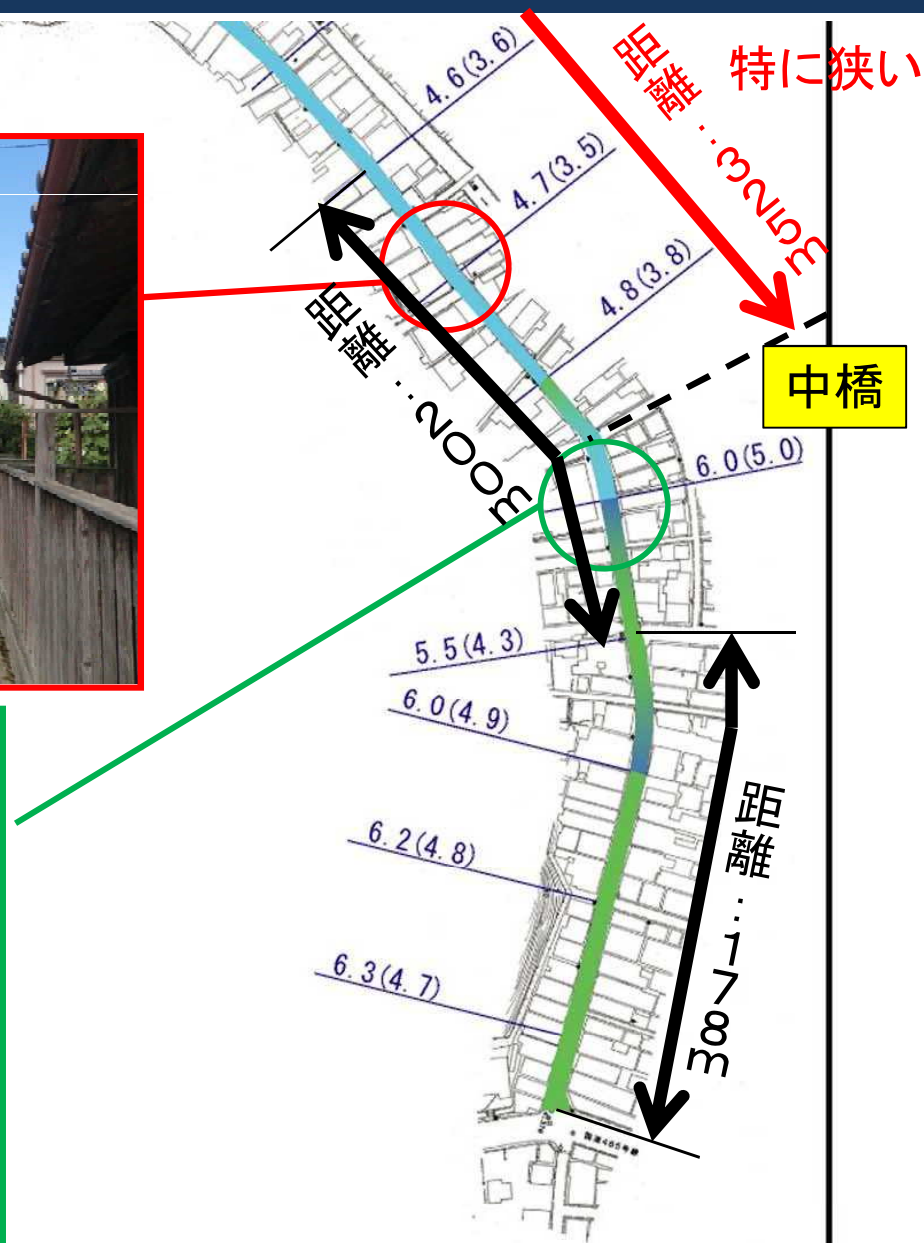
小学校入口

特に狭い

2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

幅員

道路の広さ

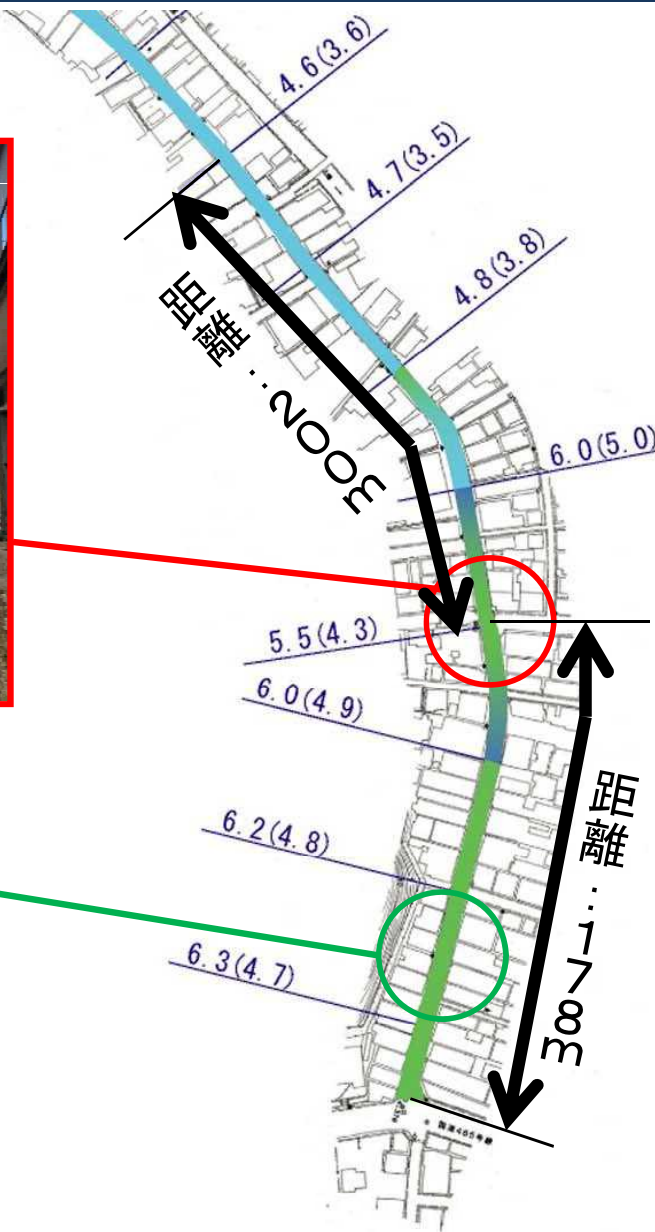


凡例

道路幅員 : m (車道部幅員 : m)

2. 県道 池田中町線の現状と課題【復習】

幅員

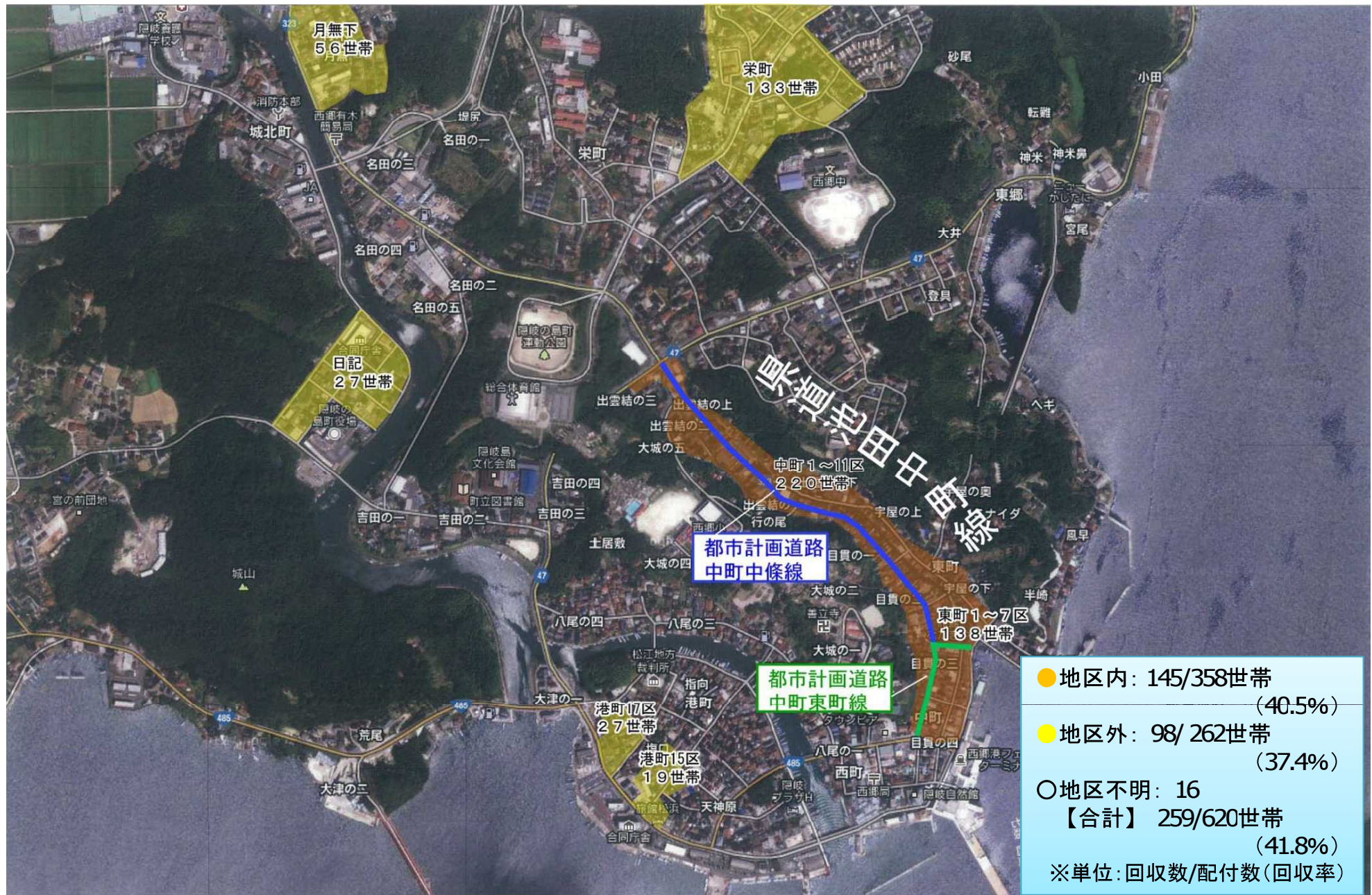


凡例

道路幅員：m（車道部幅員：m）

3. 住民アンケート調査結果について

範囲



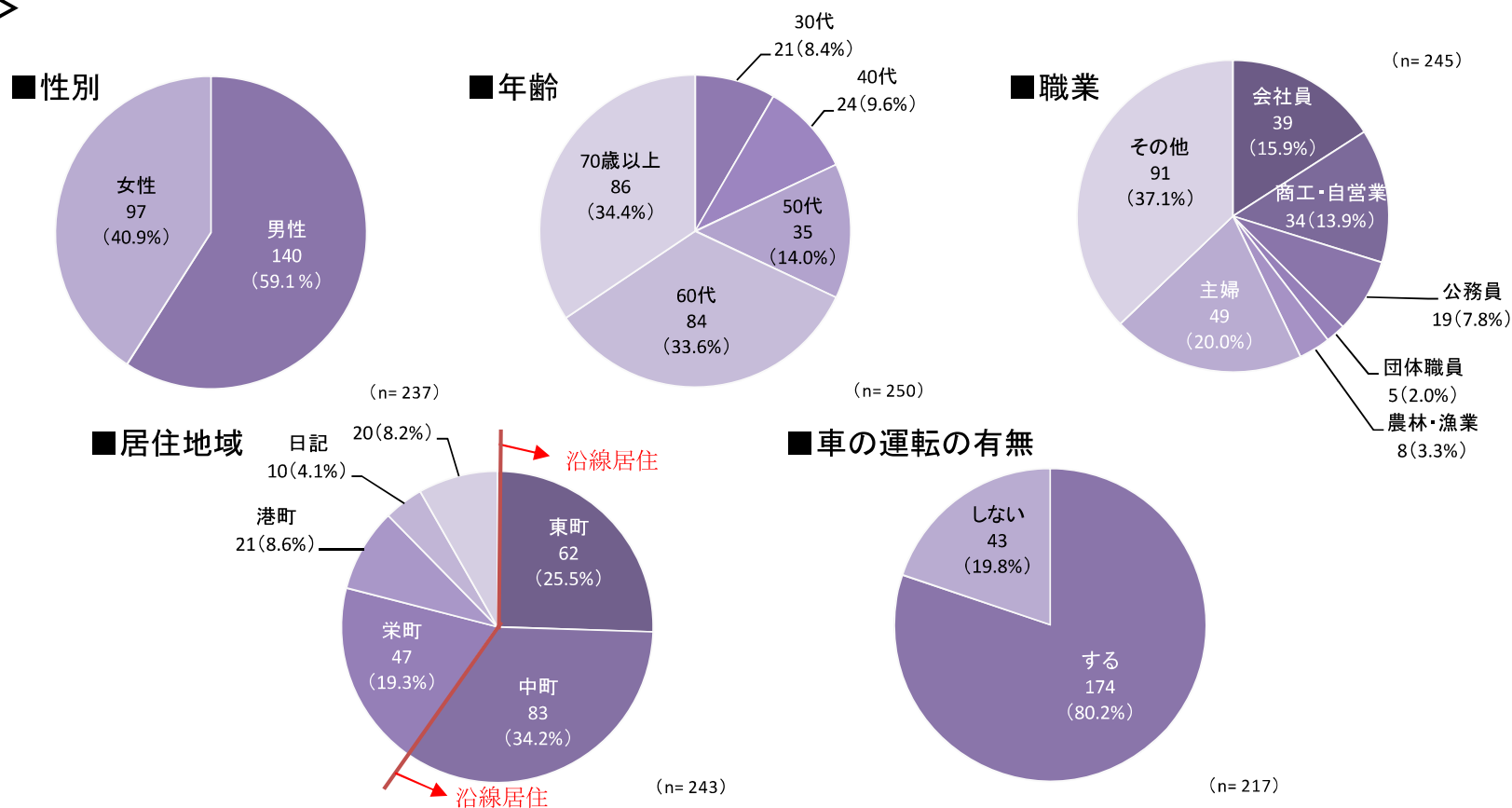
3. 住民アンケート調査結果について

属性

<調査概要>

- ◆調査対象：対象自治会に加入する全世帯
- ◆調査方法：自治会配付、郵送回収、自記入式
- ◆調査期間：平成24年12月11日～12月21日
- ◆配布数：620（地区内358、地区外262）
- ◆回収数：259（地区内145、地区外98、不明16）
- ◆回収率：41.8%（地区内40.5%、地区外37.4%）

<属性>



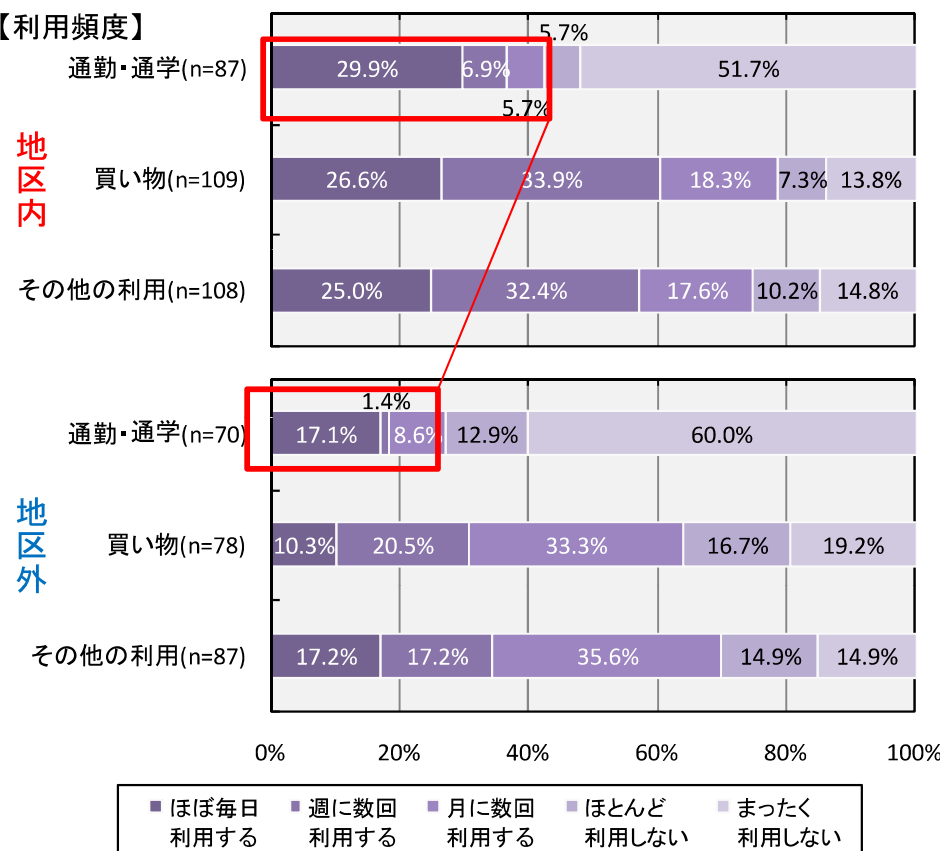
3. 住民アンケート調査結果について

利用状況

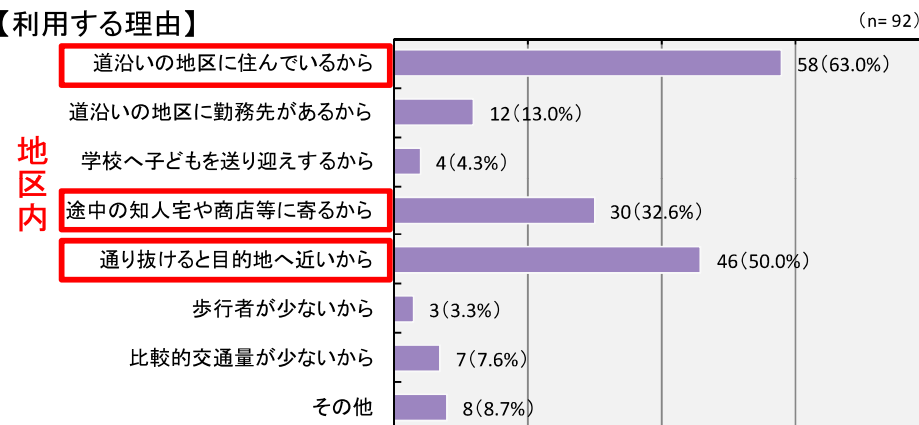
■ 利用頻度と理由＜自動車＞

- 自動車での利用は、地区内に比べ地区外は少ない。
- 特に、毎日一定の時間帯に利用すると考えられる「通勤・通学」で顕著
- 利用理由は、「地区内居住」や「買い物利用」の他、「近道利用」などがあげられる
- 利用しない理由としては、「路が狭いから」「他の道を利用する」といった意見が多い
- 地区外の利用理由は通り抜けが突出している

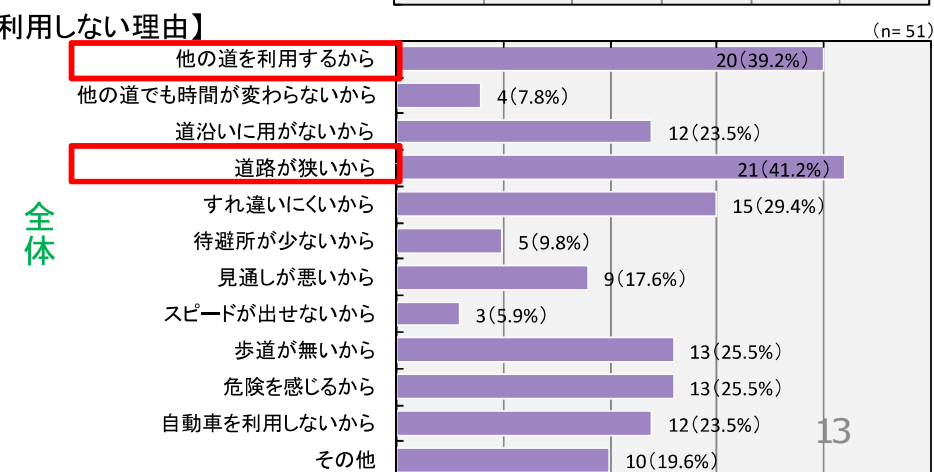
【利用頻度】



【利用する理由】



【利用しない理由】



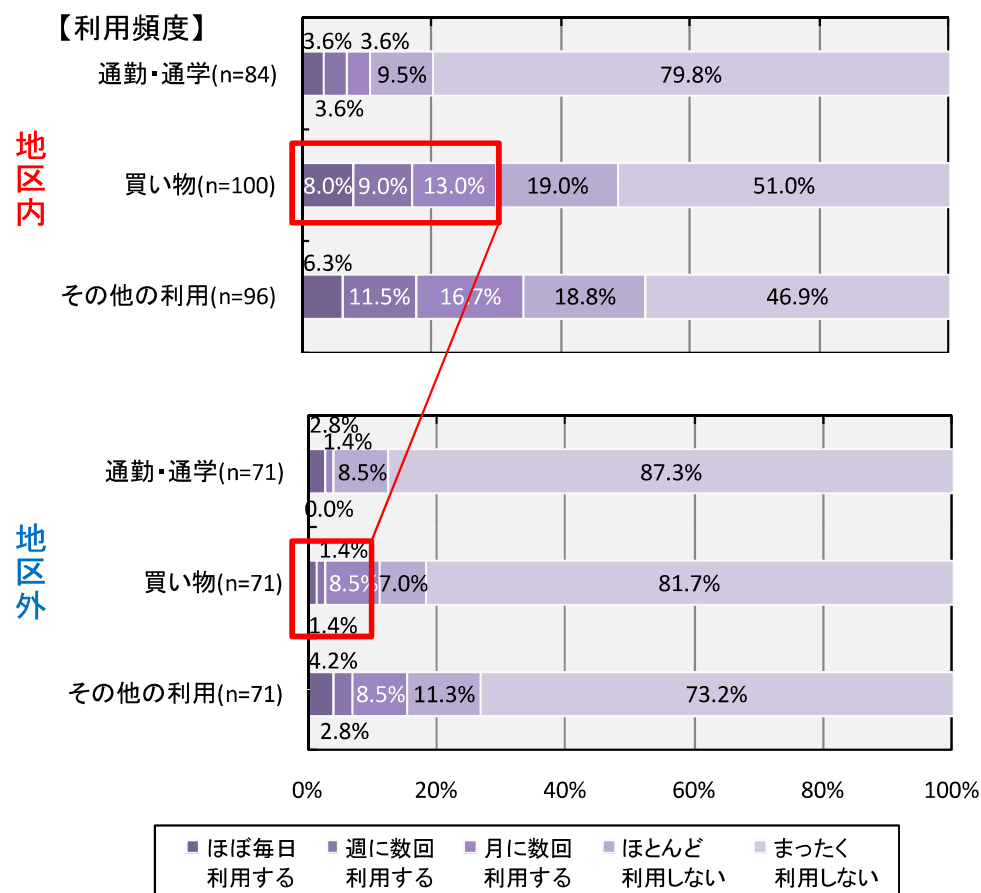
全体

3. 住民アンケート調査結果について

利用状況

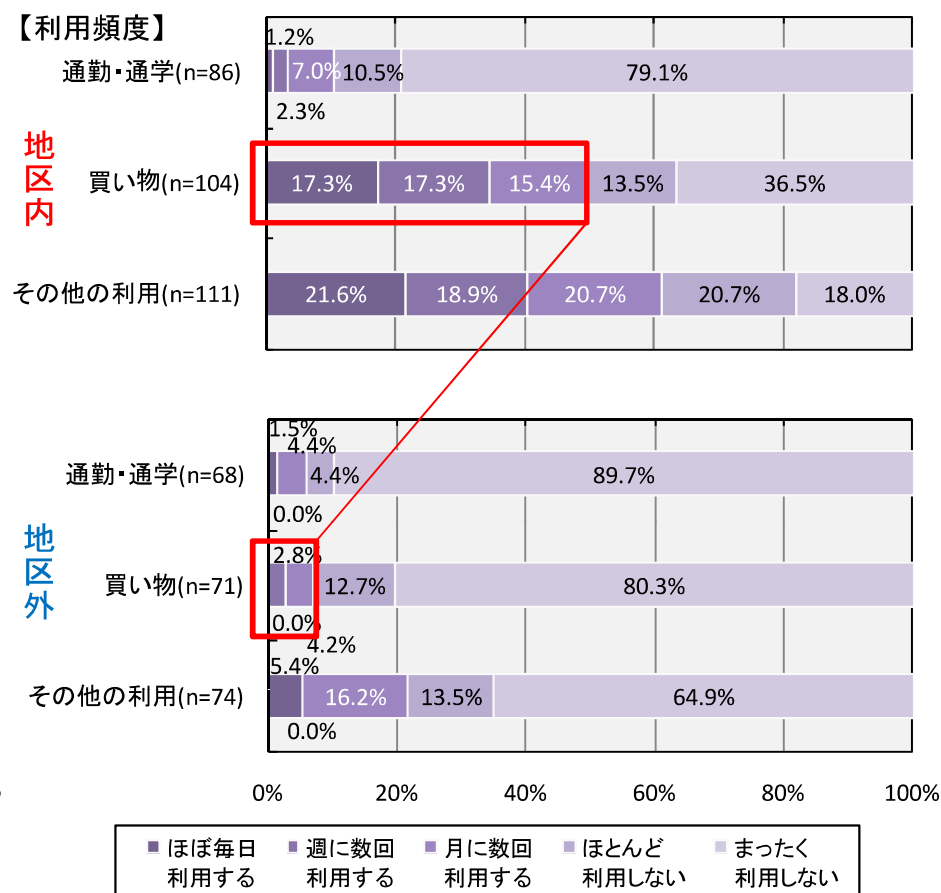
■利用頻度＜自転車・バイク＞

- 自転車・バイクでの利用は、ほとんどが地区内利用
- 利用目的は、「買い物」「その他利用」が多い
- 自動車や歩行者と比べると利用者は少ない



■利用頻度＜歩行者＞

- 歩行者は、ほとんどが地区内利用
- 地区の半数の方は何らかの形で歩行空間として利用している
- 利用目的は、「買い物」「その他利用」が多い



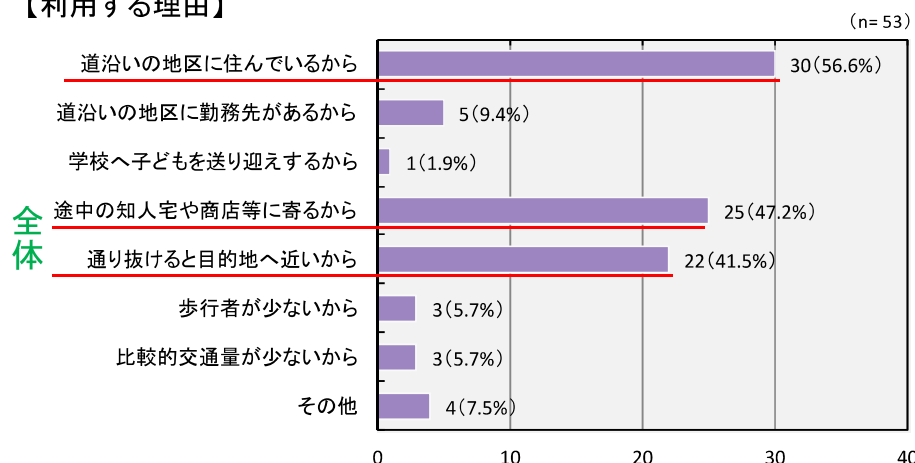
3. 住民アンケート調査結果について

利用状況

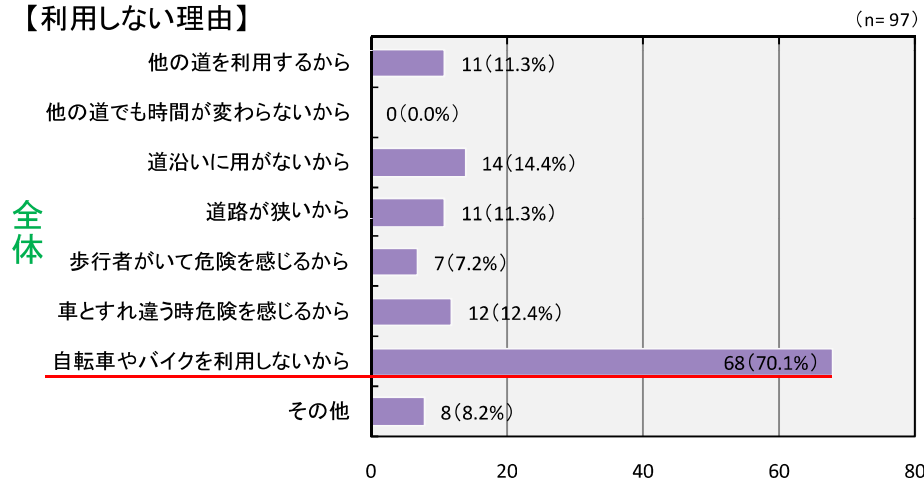
■理由＜自転車・バイク＞

- 自転車・バイクでの利用者が少ないため、地区内外に区分せず理由をみる
- 地区内に居住または用事のある人が利用している一方、抜け道としても利用している

【利用する理由】



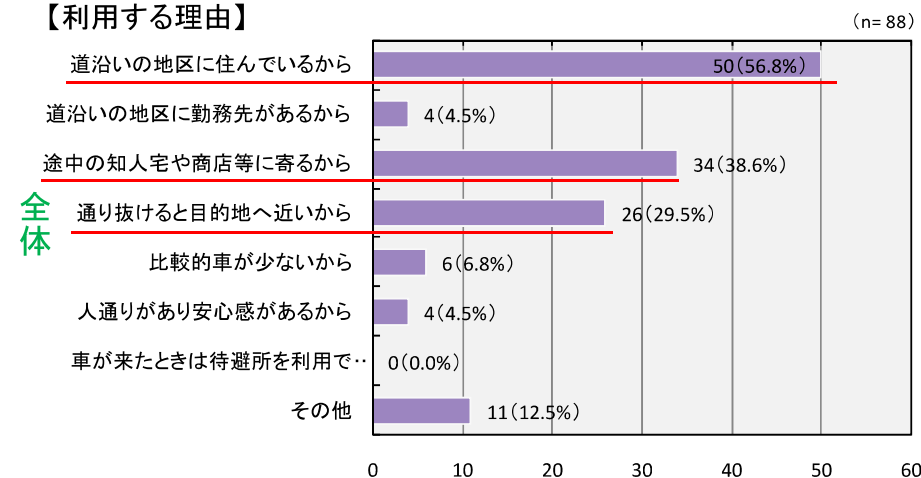
【利用しない理由】



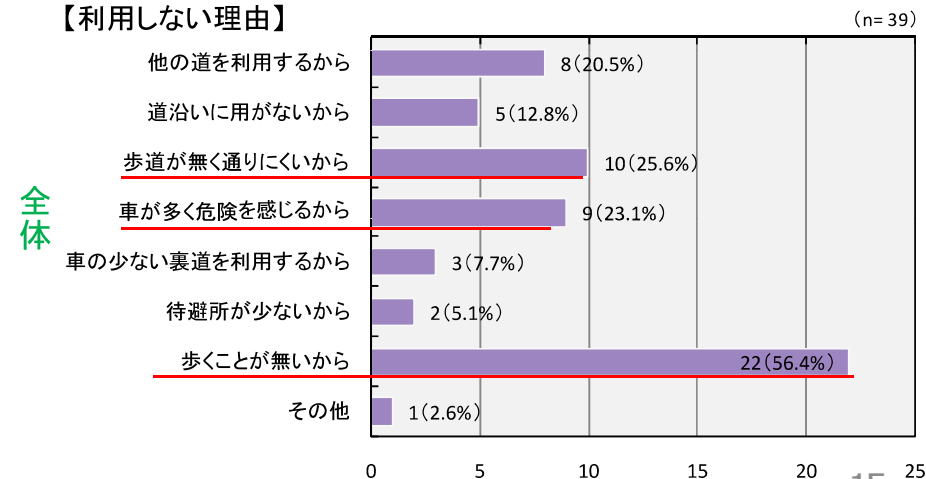
■理由＜歩行者＞

- 地区内に居住または用事のある人が利用している一方、抜け道としても利用している
- 地区内の半数の方が歩行空間として利用しているものの、「歩道がない」「車が多く危険」などと感じている。

【利用する理由】



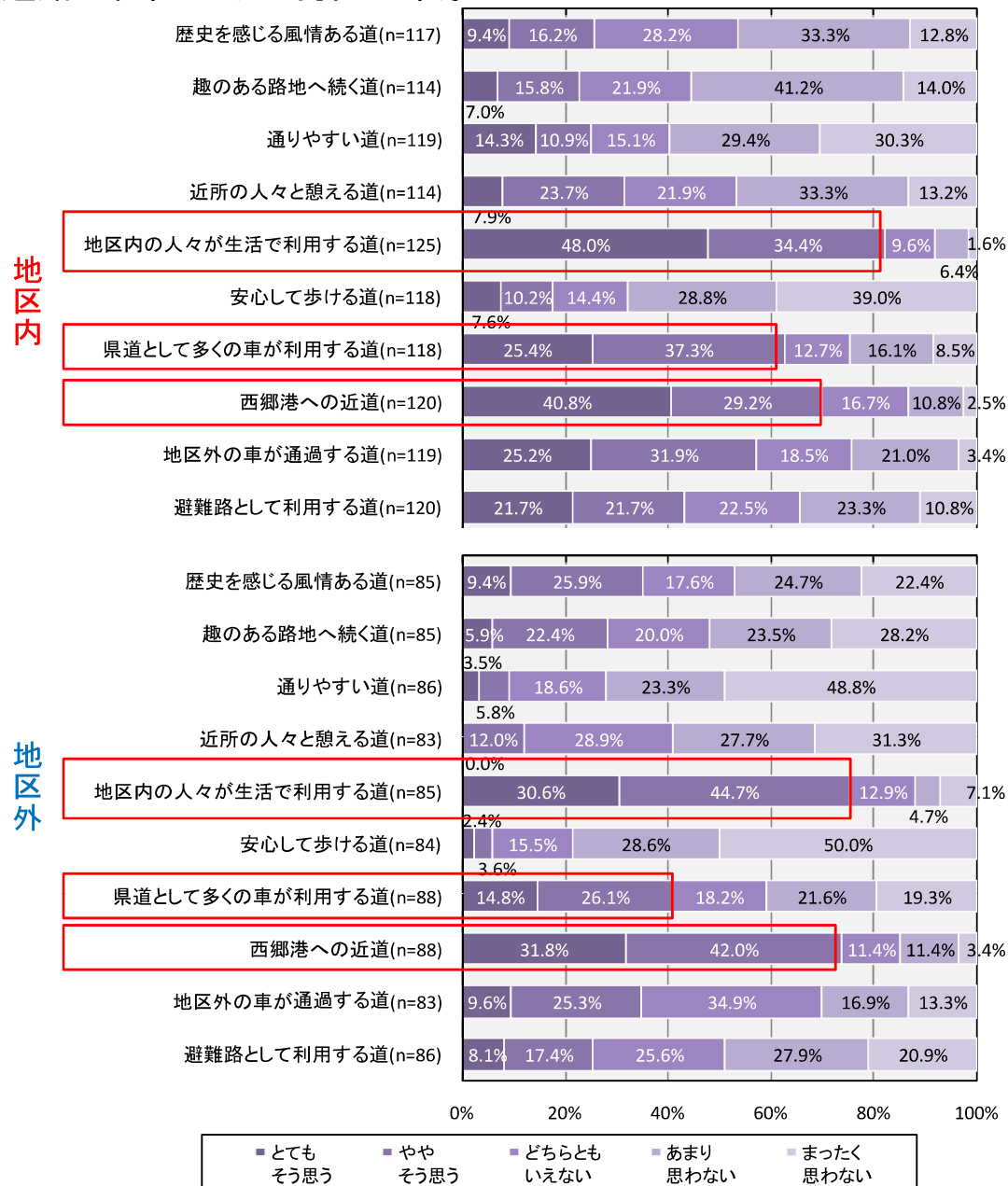
【利用しない理由】



3. 住民アンケート調査結果について

現状位置付

■道路の位置づけ＜現在の印象＞



●現在の道路は、地区内外ともに「地区内の人々が生活で利用する道」としての印象が多い

●地区内外ともに「西郷港への近道」として位置づけている

●次いで「県道として多くの車が利用する道」の意見が多いが、地区内に比べ、地区外が少ない。

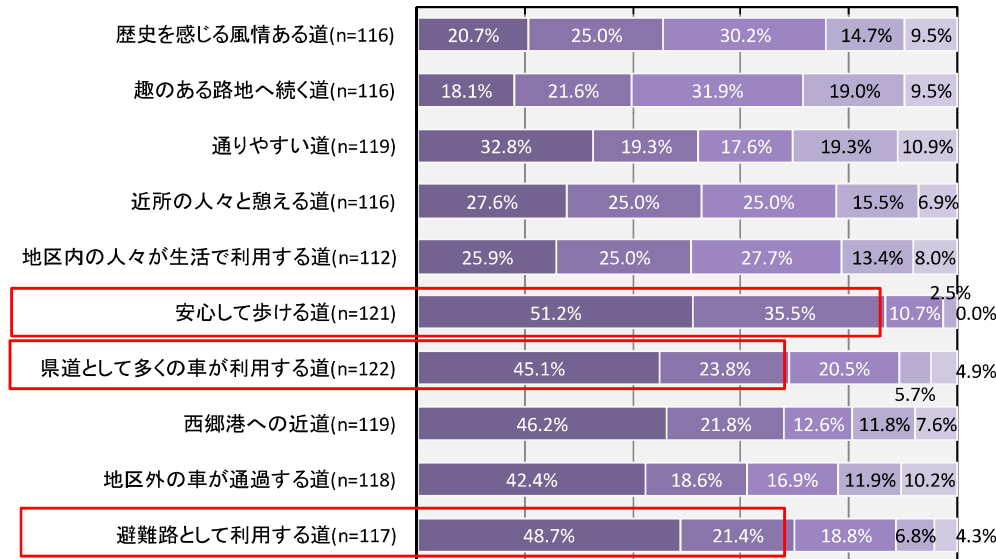
●満足度が低いこととして、地区内外ともに「通しやすい道」「安心して歩ける道」が上げられる

3. 住民アンケート調査結果について

将来希望

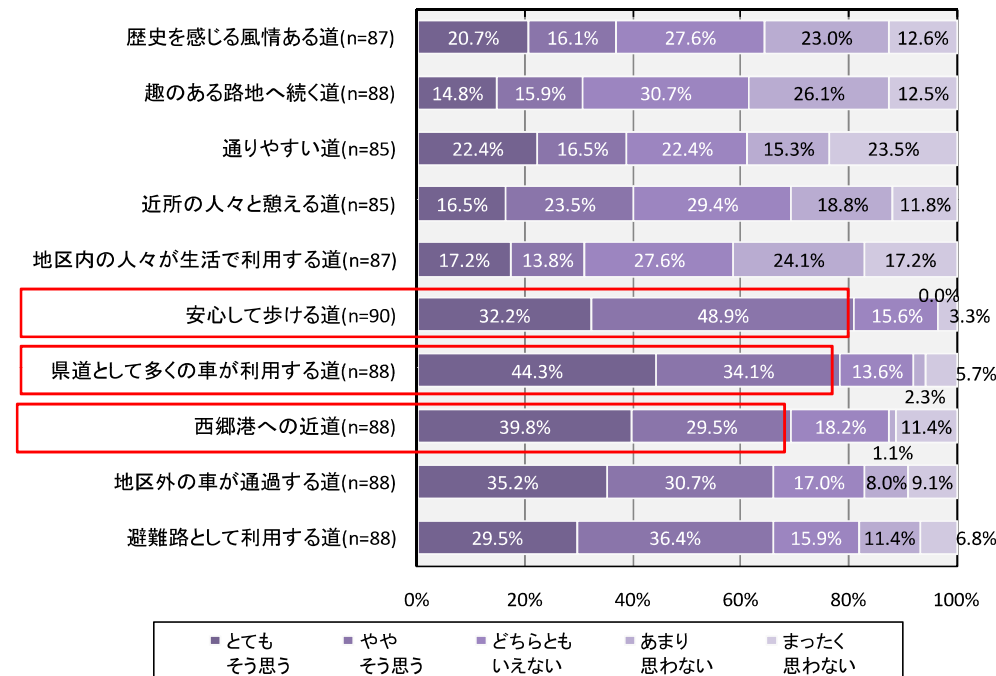
■道路の位置づけ＜将来の希望＞

地区内



- 将来の位置づけは、地区内外ともに「安心して歩ける道」としての要望が強い
- また「県道として多くの車が利用する道」「西郷港への近道」も多い。
- 地区内では「避難路として利用する道」としての意見も多い。

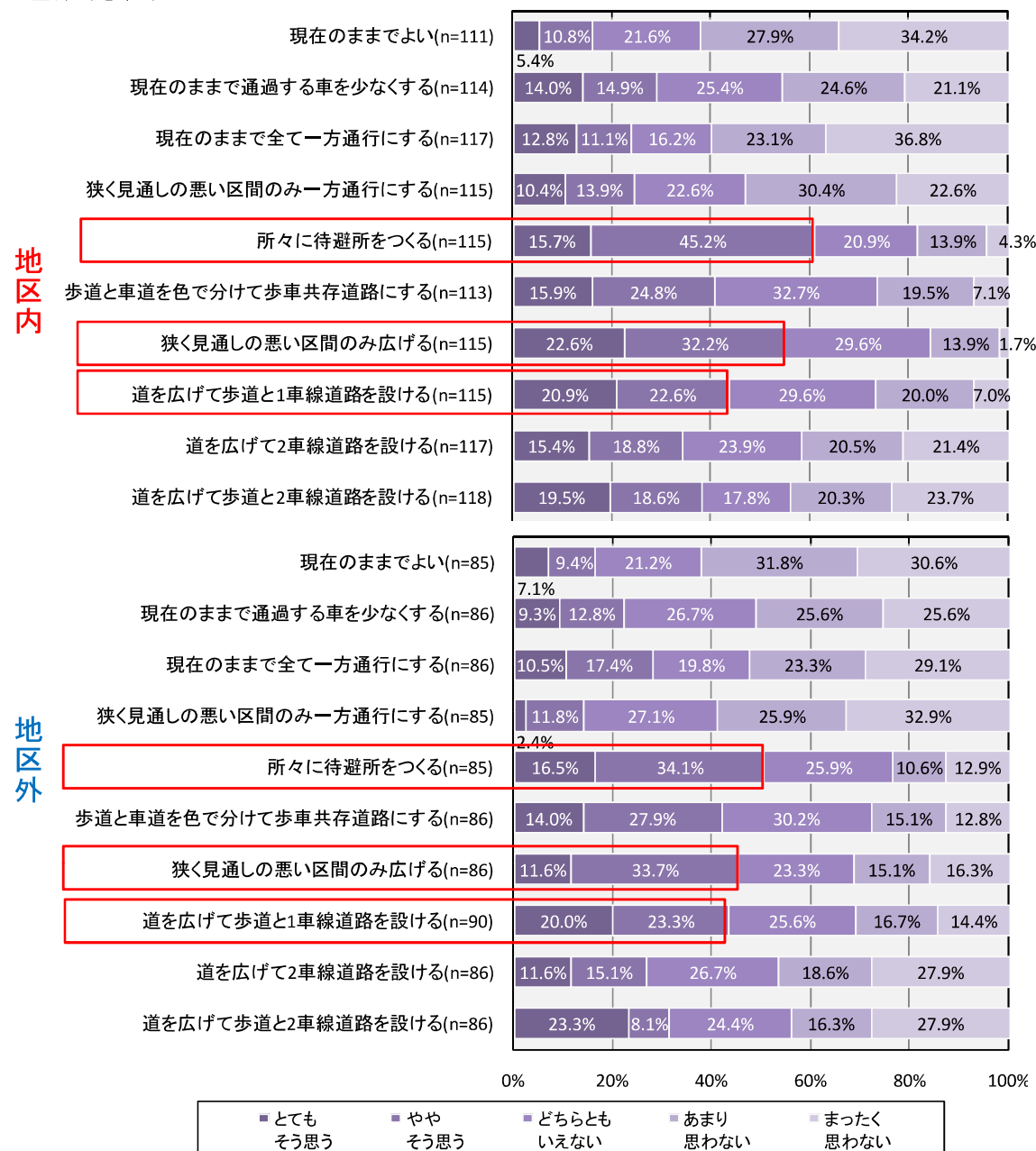
地区外



3. 住民アンケート調査結果について

達成方法

■達成方法



●達成方法は、地区内外ともに「所々に待避所をつくる」が最も多い。

●次いで「狭く見通しの悪い区間のみ広げる」が多い。

●「道を広げて歩道と1車線道路を設ける」といった意見が続く。

●反対に少ない意見は、「現在のまま」や「一方通行」による対策があげられる

●また、「道を広げて2車線道路(歩道有・歩道無)を設ける」に対しては、若干低い

3. 住民アンケート調査結果について

総括

■ アンケート結果からの考察【総括】

- 1) 道路の位置づけは、次の2つの機能があると考えている。
 - ① 地区内の生活道路
 - ② 幹線道路(近道・抜け道)
- 2) 住民は、車が利用するのみでなく、「安心して歩ける道」の機能を望んでいる。
- 3) 住民は、現在のままで良いとは思っていない。
- 4) 「安心して歩ける道」でありながら「県道として多くの車が利用する道」を達成するための方法として、一方通行化には否定的。
- 5) 達成方法として、「歩道＋2車線」の案については、**賛否両論**である。
→これは、移転家屋への影響、交通量増加、スピードが出せるようになる、といったことへの懸念と考えられる。
- 6) 改良区間及び改良方法ともに、限定的な案への要望が最も多い。
例:「**狭く見通しの悪い区間のみ広げる**」や、「**所々に待避所を設ける**」
→これは、移転家屋への影響、交通量増加、スピードが出せるようになる、といったことへの懸念と考えられる。

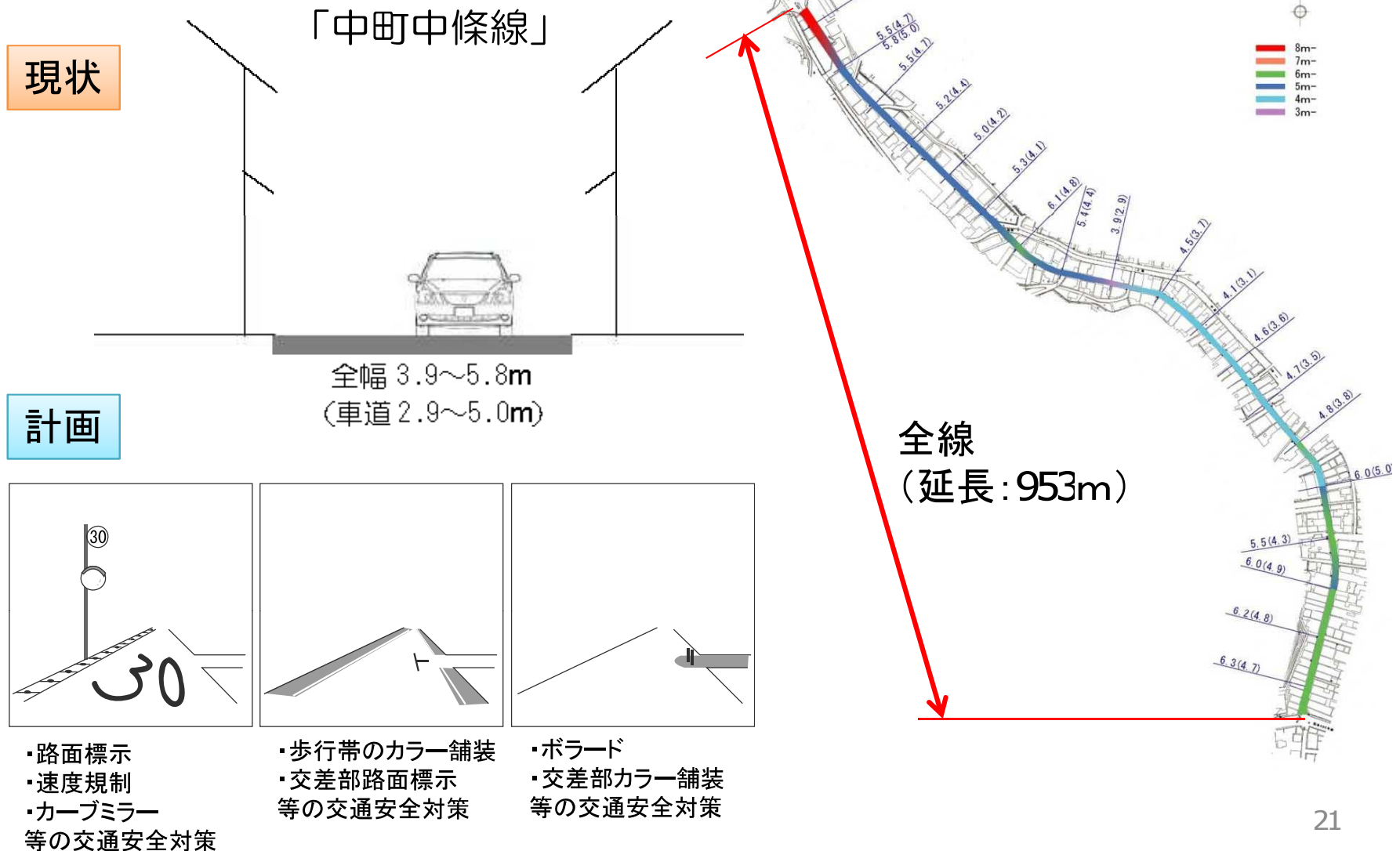
4. 考えられる整備案(素案)

「現状」や「アンケート結果」などから“考えられる整備案(素案)”をご紹介します。
その視点を整理すると以下の5つとなります。

項目	視 点
①現状工夫案 【速度・側溝・舗装等】	・ 速度規制 ・ 速度表示（路面など） ・ 側溝整備 ・ 舗装整備（交差点部はカラー舗装など） ・ 区画線整備（車道幅を狭くする方法もあり） ・ カーブミラー設置 ・ 交差点部分にボラードを活用
②一部改良案 【車道4m未満のみ整備】 (待避所＋歩車共存)	・ 待避所＋歩車共存（カラー舗装） ・ 現在の空き地や空き屋を利用
③一部改良案 【車道4m未満のみ改良】 (2車線＋片歩道)	・ 最低幅員の歩道（1.5m）＋2車線（5.5m）を確保・・・全幅8.2m（路側帯など含む） ・ 歩道と1車線改良では、交通量からみて危険性が懸念される ・ 歩道と車道は境界ブロックで分離した方がより安全である ・ 西郷小学校の通学路
④全線拡幅案 【幅員小】 (2車線＋片歩道)	・ 全線にわたり、歩道（1.5m）＋2車線（5.5m）を確保・・・全幅8.2m（路側帯など含む）
⑤全線拡幅案 【都市計画決定案】 (2車線＋片歩道) (2車線＋両歩道)	・ 都市計画決定されている案

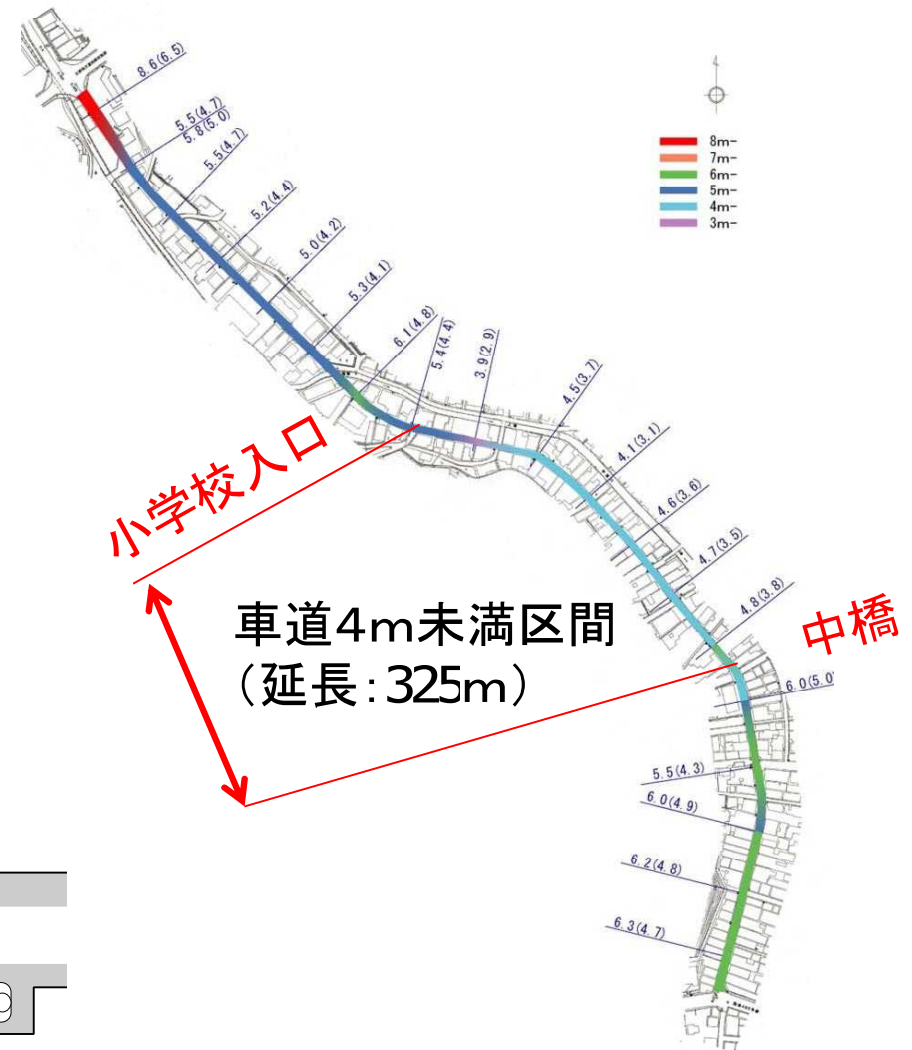
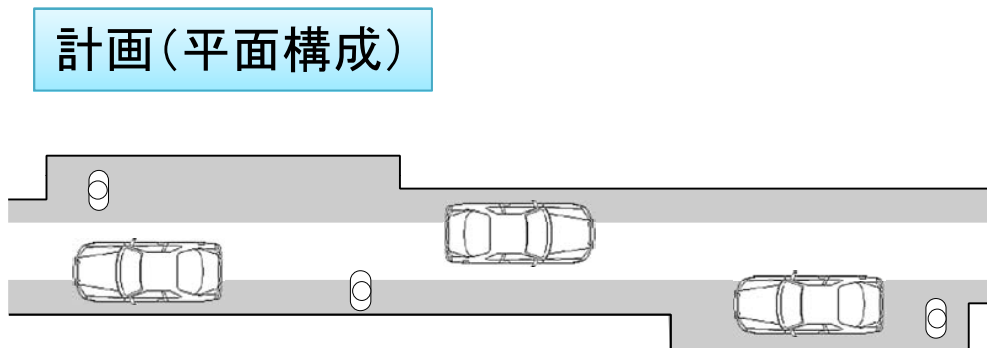
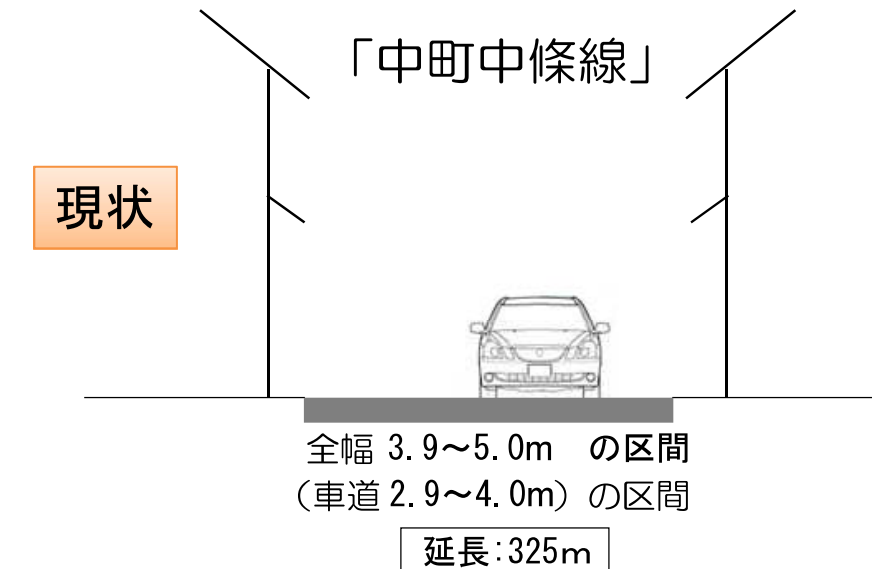
4. 考えられる整備案(素案)

①現状工夫案【速度・側溝・舗装等】(速度規制・速度表示・側溝整備・舗装整備・区画線整備・ミラー・ポラード活用)



4. 考えられる整備案(素案)

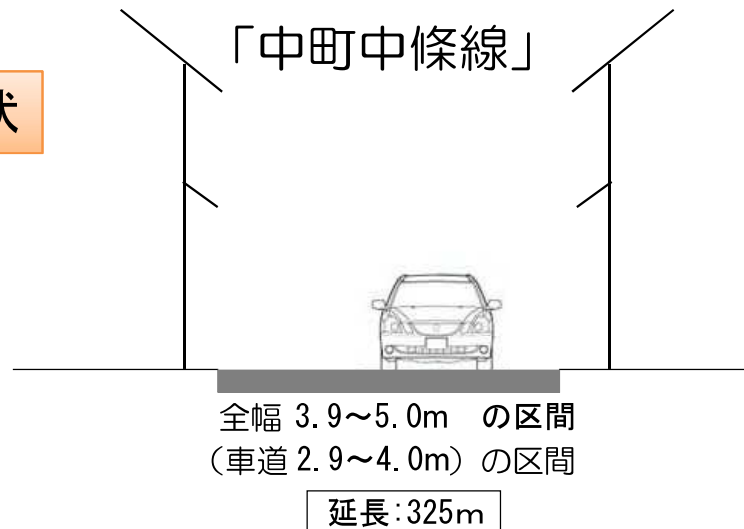
②一部改良案【車道4m未満のみ整備】(待避所＋歩車共存)



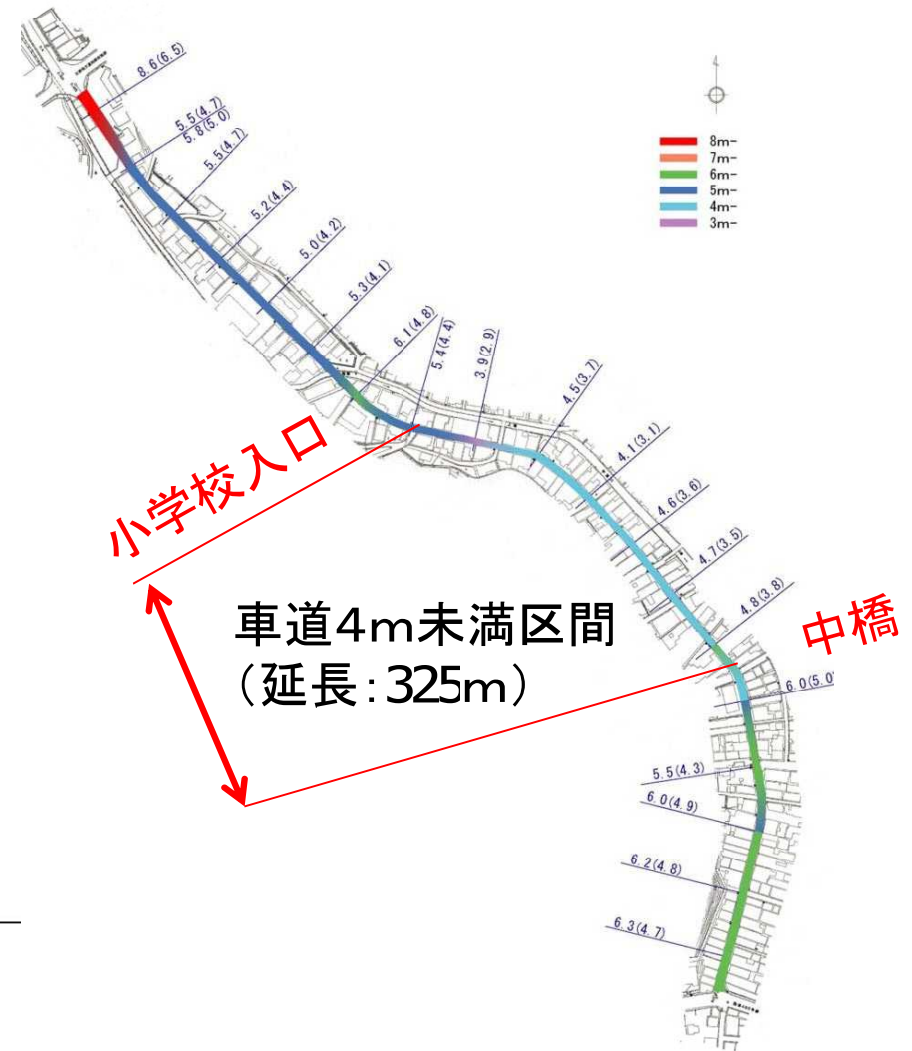
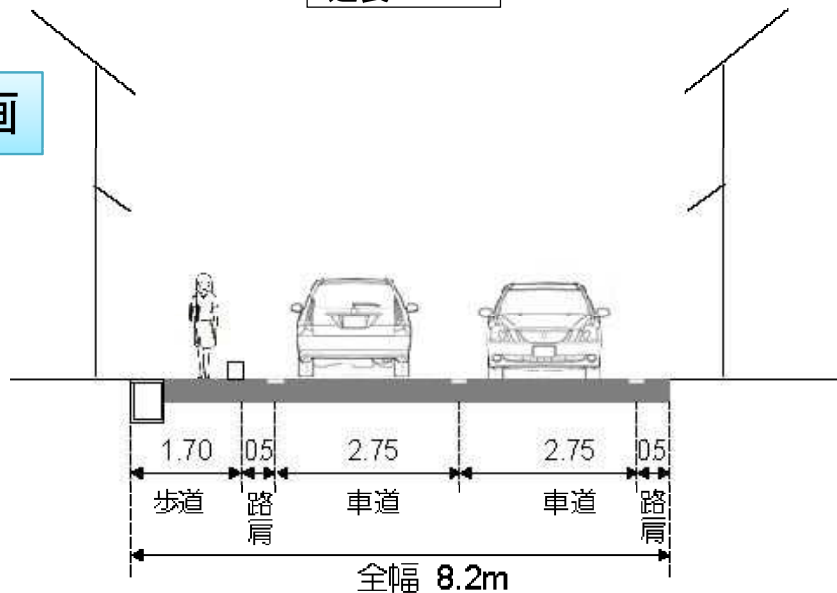
4. 考えられる整備案(素案)

③一部改良案【車道4m未満のみ改良】(2車線+片歩道)

現状

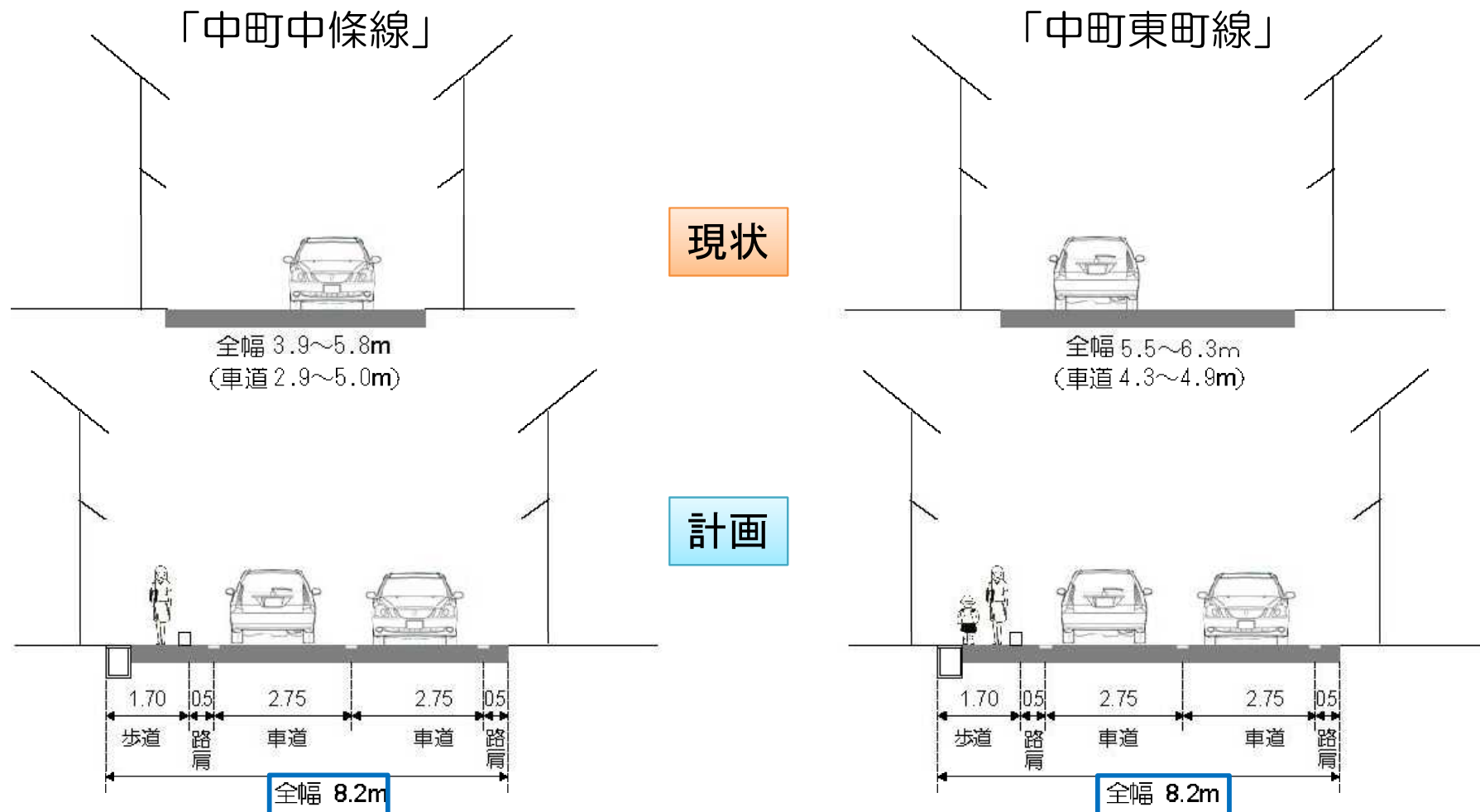


計画



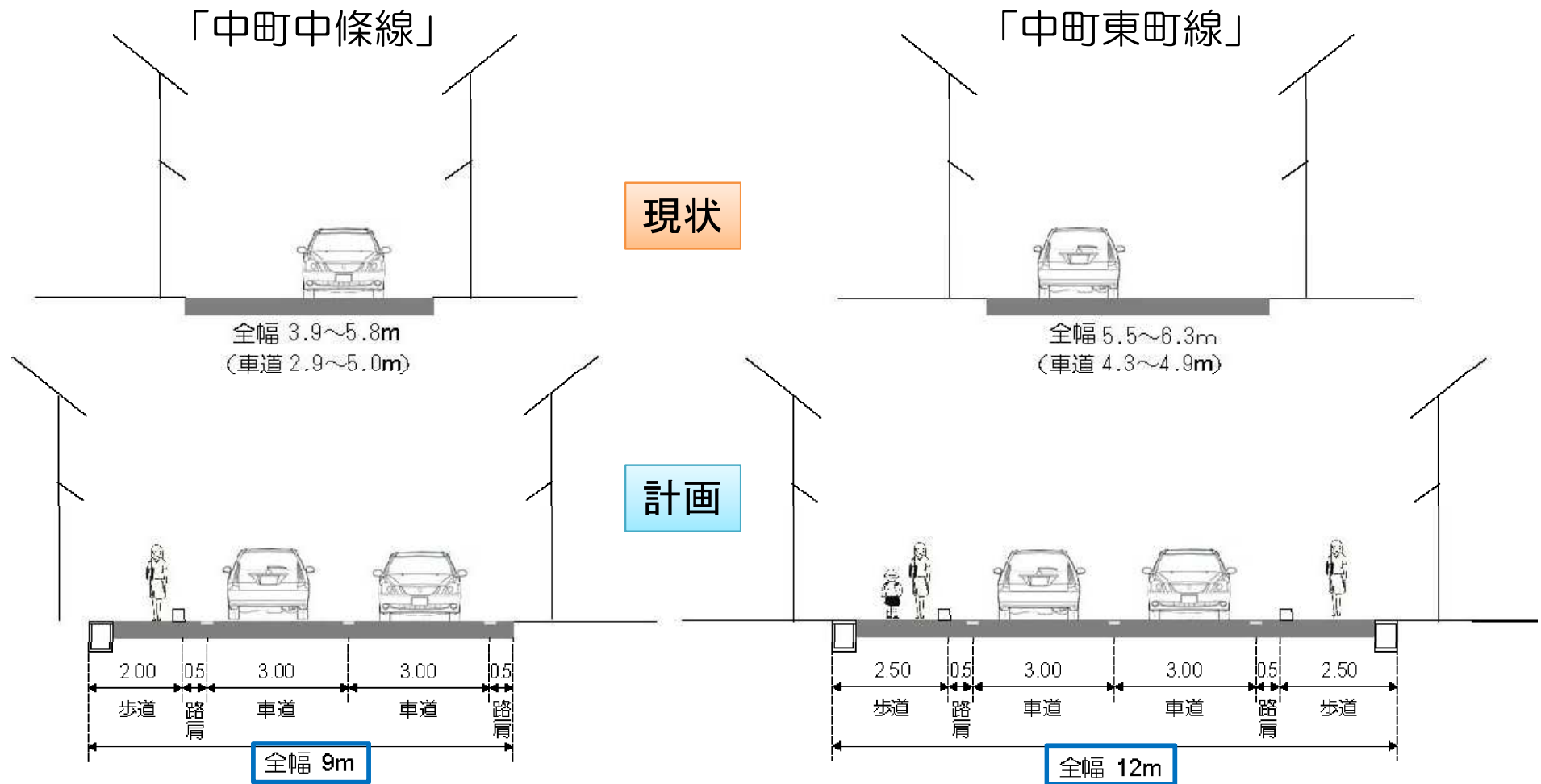
4. 考えられる整備案(素案)

④全線拡幅案【幅員小】(2車線+片歩道)



4. 考えられる整備案(素案)

⑤全線拡幅案【都市計画決定案】(2車線+片歩道)・(2車線+両歩道)



4. 考えられる整備案(素案)

比較表

■考えられる整備案＜比較表＞

項目	整備効果		地元への影響	
	長所	短所	長所	短所
①現状工夫案 【速度・側溝・舗装等】	・減速効果には一定の改善が期待できる ・歩行空間としてわずかな改善はできる (段差解消、歩行空間の表示)	・狭い箇所の解消はできない ・すれ違い難い箇所の解消はできない ・安全な歩行空間の確保に問題が残る	・移転など影響範囲がでない	
②一部改良案 【車道4m未満のみ整備】 (待避所＋歩車共存)	・当該路線の南北両端は現道のままとし、出来るだけ通過交通を排除する ・離合困難箇所の解消	・抜け道としての利用増加の可能性 ・通りやすくなったことで速度超過の懸念 ・「ゆずり合い」に依存する部分が多い ・歩行者の安全が、車のマナーに依存する部分が多い	・影響範囲が少ない ・既存の空き屋・空き地利用ができる ・現在の住宅地機能が維持できる	・空地利用・空き屋利用を基本とするが、住居移転もありうる
③一部改良案 【車道4m未満のみ改良】 (2車線＋片歩道)	・当該路線の南北両端は現道のままとし、出来るだけ通過交通を排除する ・離合困難箇所の解消 ・西郷小学校の通学路 ・歩車分離とし、歩行者の安全を確保	・抜け道としての利用増加の可能性 ・通りやすくなったことで速度超過の懸念	・影響範囲が限定的 ・地区内の空き屋・空き地へ移転することも可能 ・現在の住宅地機能がある程度維持できる	・移転対象家屋が発生
④全線拡幅案 【幅員小】 (2車線＋片歩道)	・安全な歩行空間の確保 ・車が通りやすい空間の確保		・道路の線形によっては、片側だけの影響範囲も検討できる	・全線にわたり影響範囲がでる ・移転対象家屋が多数発生 ・移転により世帯数の減少が懸念される
⑤全線拡幅案 【都市計画決定案】 (2車線＋片歩道) (2車線＋両歩道)	・最も安全な歩行空間の確保 ・幹線道路として車が通りやすい空間の確保 ・商業空間として相応しい			・全線にわたり影響範囲がでる ・移転対象家屋が多数発生 ・移転により世帯数の減少が懸念される ・移転により商店の減少が懸念される

5. 意見交換

- 県道池田中町線の現状と課題について
- 住民アンケート調査結果について
- 考えられる整備案について

6. 今後の進め方

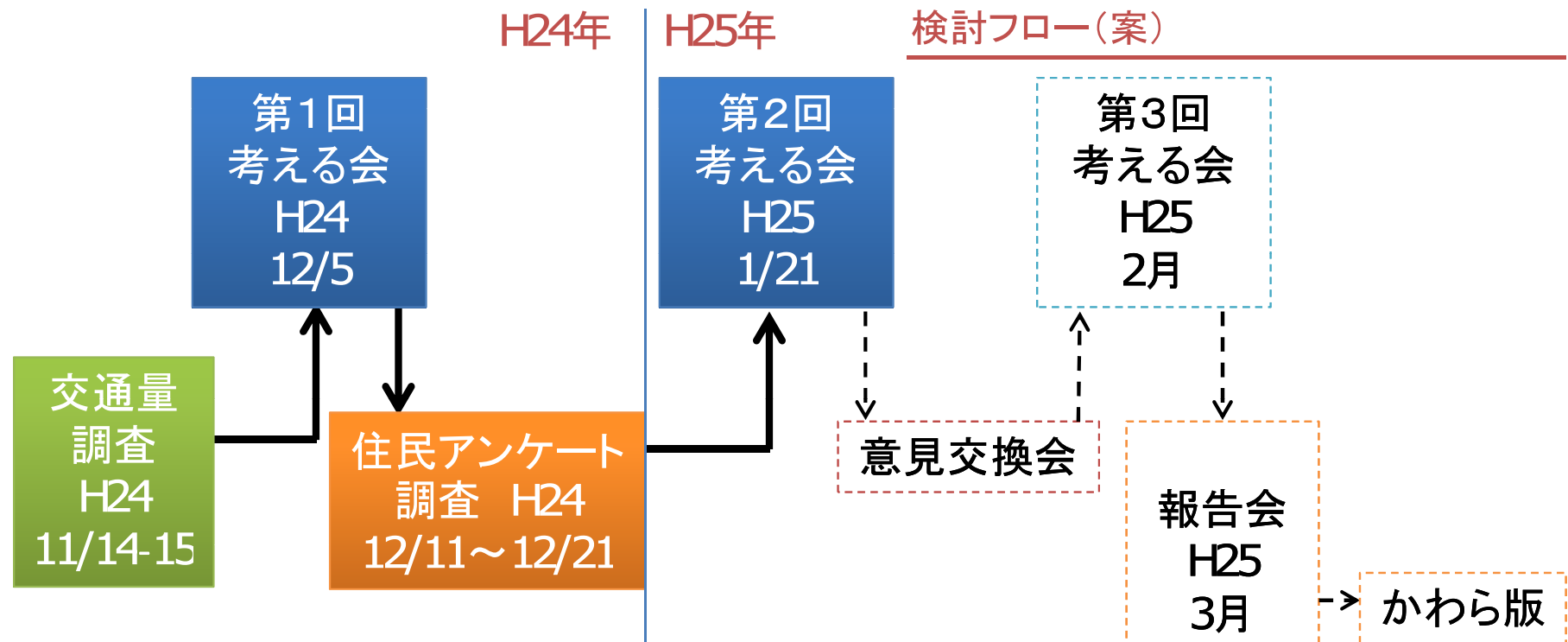
検討フロー

● 県道 池田中町線を考える会

地元関係者、隠岐の島町関係者、島根県関係者で組織し、基本的な考え方・進め方を、整理・共有・調整する場。

● 意見交換会（沿道の方を対象）

沿道の方を中心に道のあり方を意見交換する場。



6. 今後の進め方

意見交換会

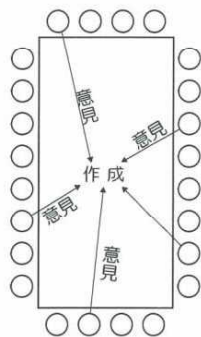
■意見交換会の手法の提案(ワークショップ形式)

ワークショップとは

- ワークショップは、参加者自らが、共同作業を行う中で提案や計画をまとめる手法です。
- ワークショップでは、参加者ひとりひとりが意見をより表現しやすくするため、少人数(7~9人程度)によるグループ作業が中心となります。

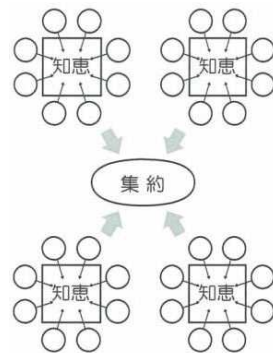
ワークショップの特徴・利点

従来の方法 (審議会方式)



- ・大人数の前では、言いたいことがなかなか言いにくい
- ・時間の制約により、全員の意見が出にくい(見えない)(全員が発言する時間がない)
- ・限られた声の大きい人の発言や意見に左右されがち

ワークショップ



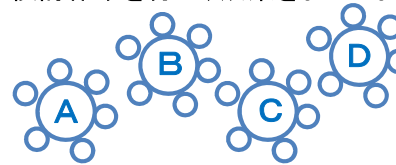
- ・小人数のグループ作業が中心なので**意見が言いやすい**
- ・小人数のグループに分かれて作業をするため**全員の意見が出せる(見える)**
- ・**参加者全員の意見をまとめる形で結果を整理**

ワークショップの進め方のイメージ

テーマを設定:「〇〇について考えよう」



各グループ単位で検討
同一テーマのもとグループに分かれて
検討作業を行い、成果をまとめます



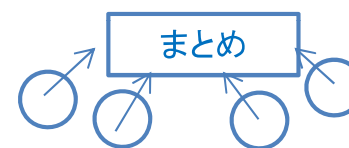
グループごとに成果を発表

各グループで話し合った結果を、それぞれ
みんなの前で発表します。



全体でまとめ

各グループの結果を全体で確認しながら、
ひとつの成果にまとめていきます。



〇〇についてはこうしよう!

「県道 池田中町線」アンケート集計結果

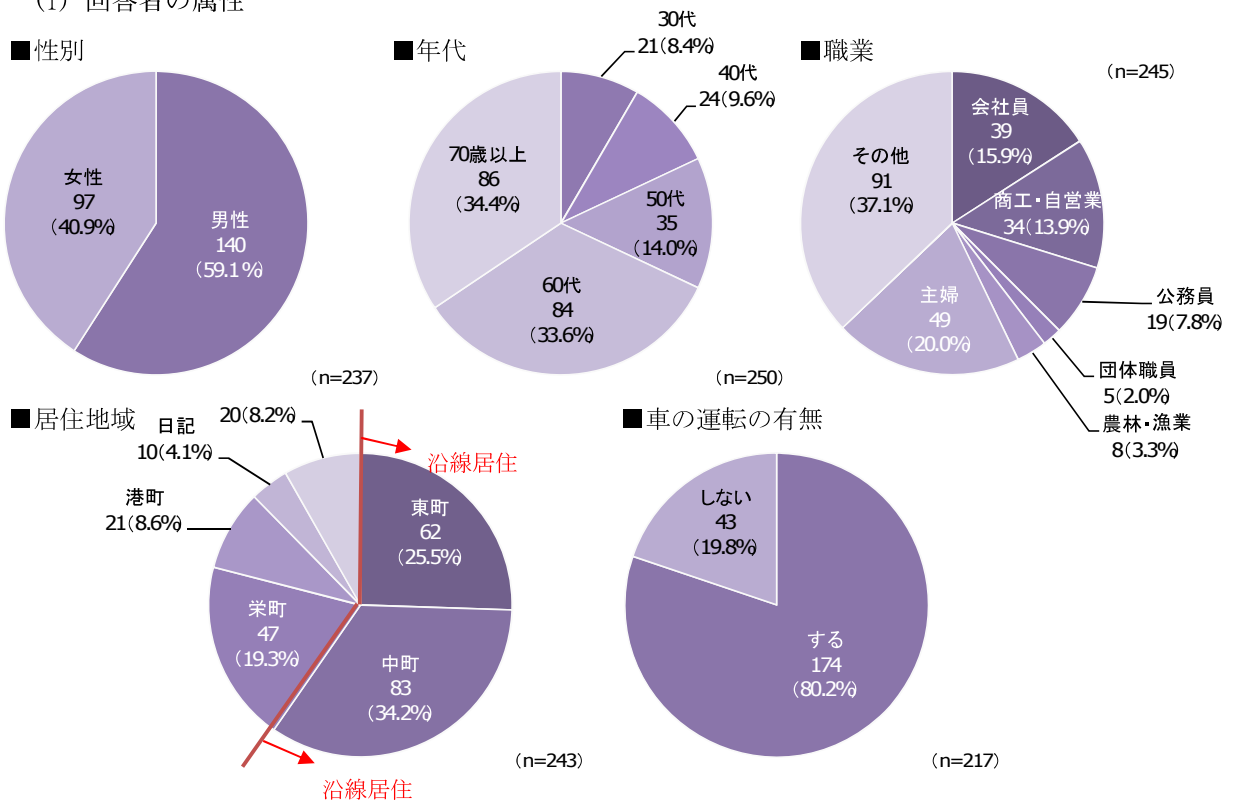
1. 調査概要

- ◆調査対象：対象自治会に加入する全世帯
- ◆調査方法：自治会配付、郵送回収、自記入式
- ◆調査期間：平成24年12月11日～12月21日
- ◆配布数：620人
- ◆回収数：259（41.77%）

No.	コード	行政区名	世帯数
1	1101	東町1区	24
2	1102	東町2区	20
3	1103	東町3区	14
4	1104	東町4区	13
5	1105	東町5区	19
6	1106	東町6区	22
7	1107	東町7区	26
8	1201	中町1区	24
9	1202	中町2区	18
10	1203	中町3区	17
11	1204	中町4区	24
12	1205	中町5区	18
13	1206	中町6区	17
14	1207	中町7区	18
15	1208	中町8区	12
16	1209	中町9区	21
17	1210	中町10区	27
18	1211	中町11区	24
19	1307	栄町7区	133
20	1515	港町15区	19
21	1517	港町17区	27
22	1701	日記	27
23	3509	月無下	56
計			620

2. 単純集計結果

(1) 回答者の属性

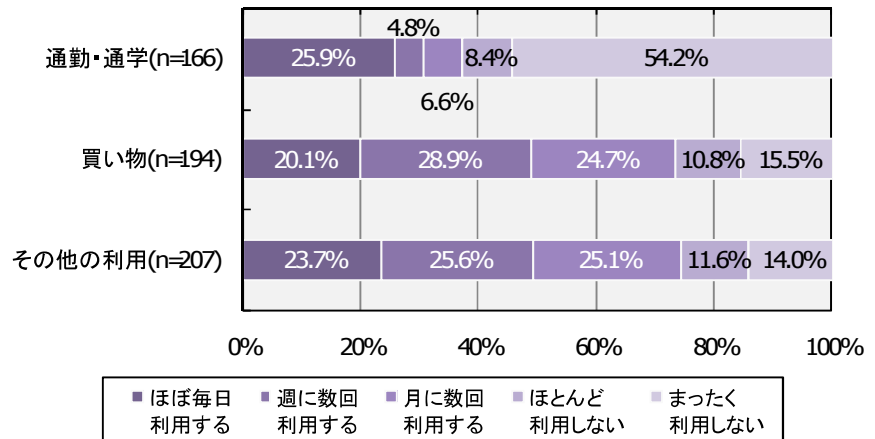


(2) 利用頻度と理由

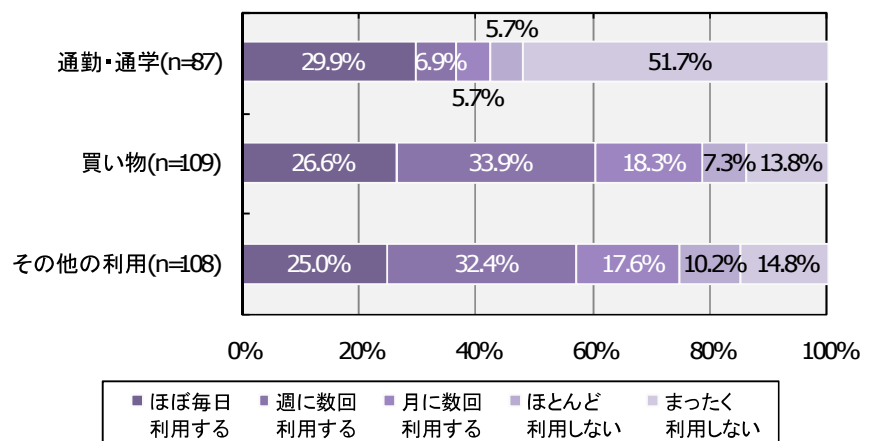
■自動車

【利用頻度】

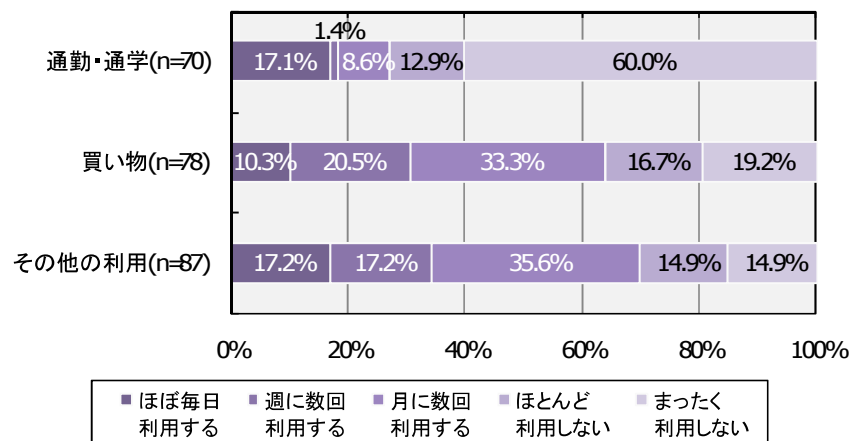
(全体)



(地区内)

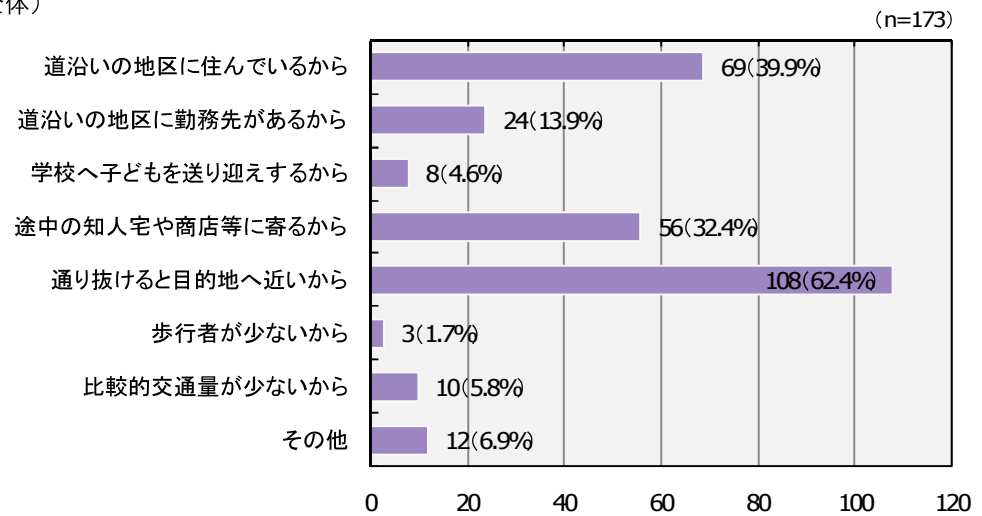


(地区外)

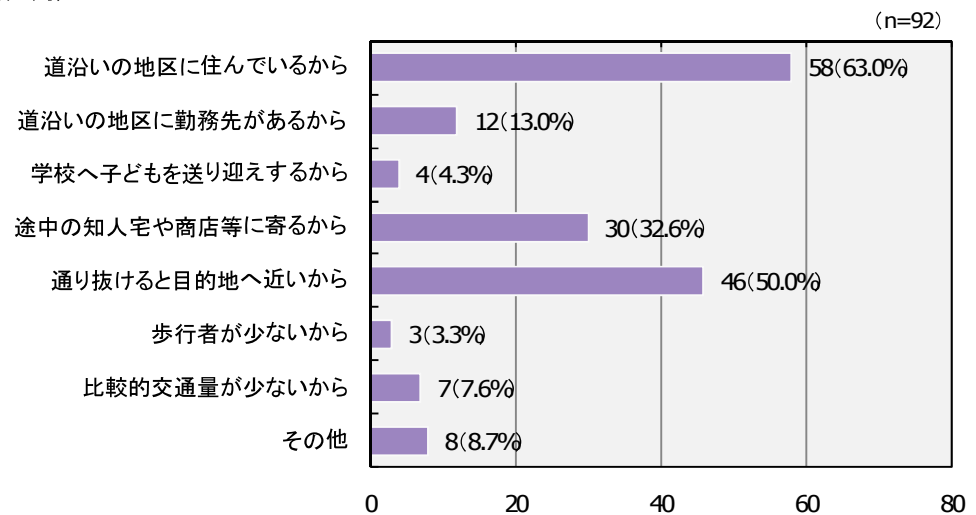


【利用する理由（複数回答）】

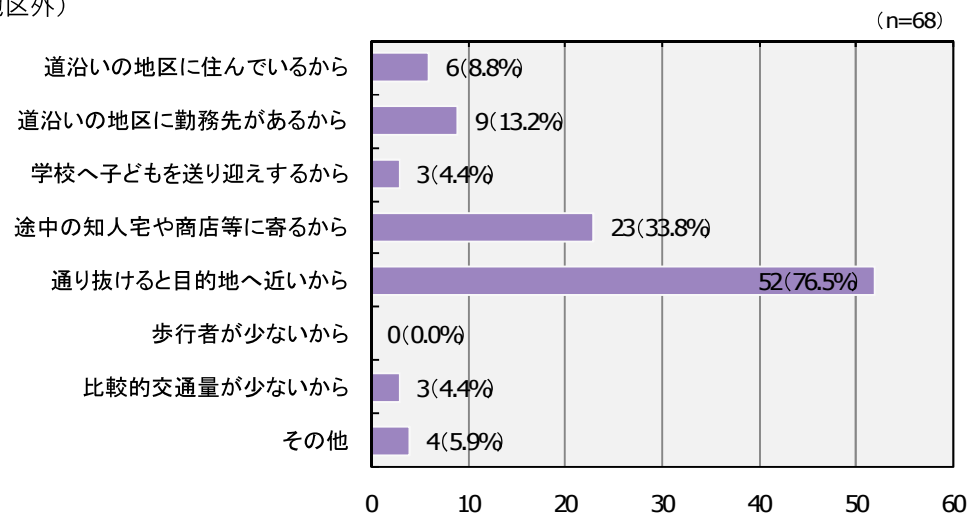
（全体）



（地区内）

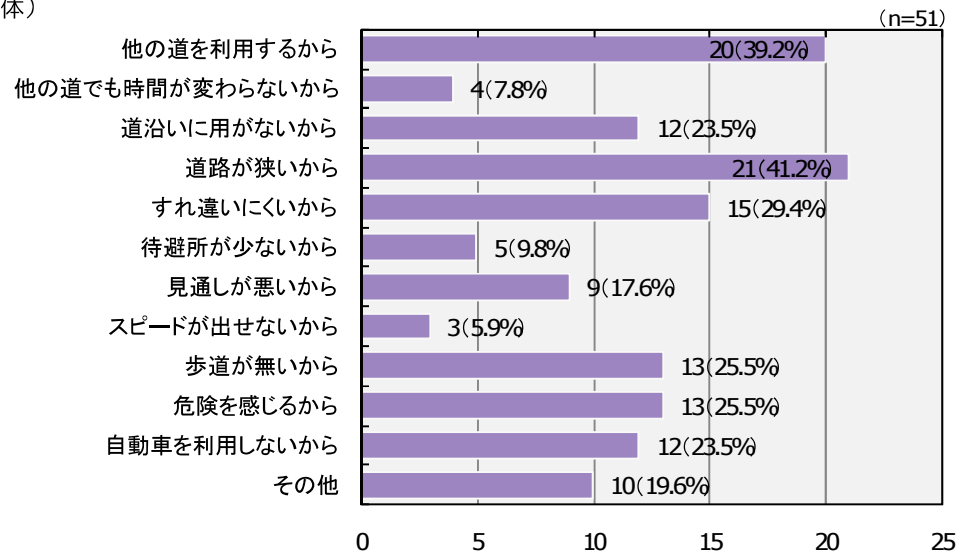


（地区外）

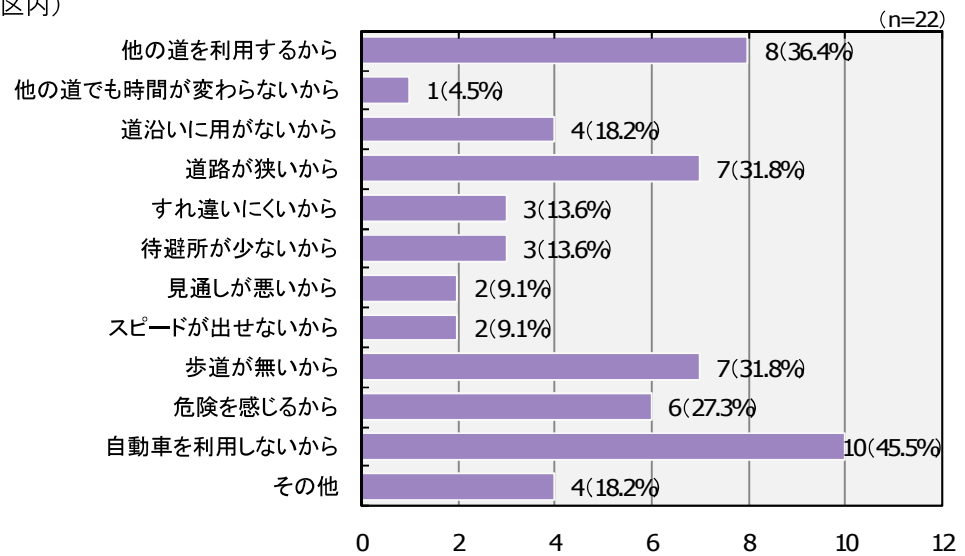


【利用しない理由（複数回答）】

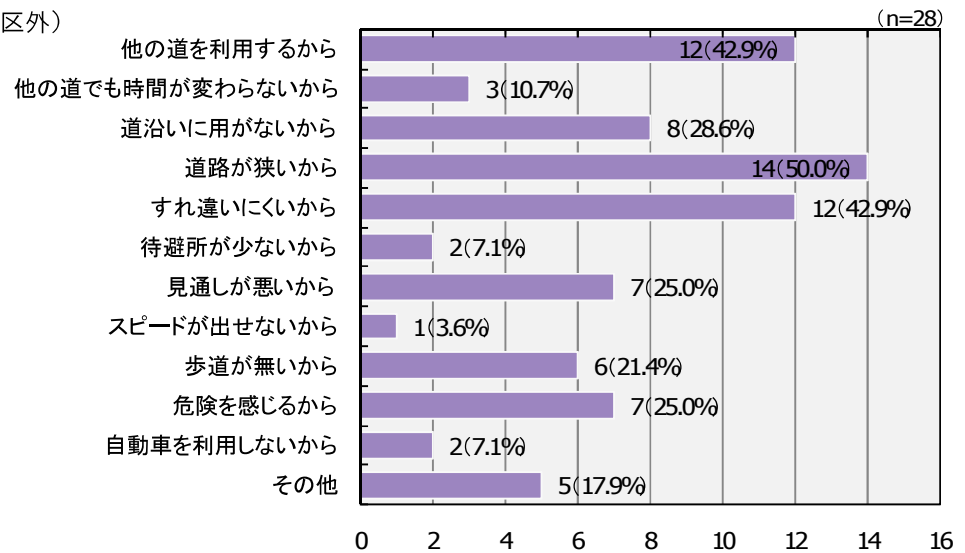
（全体）



（地区内）



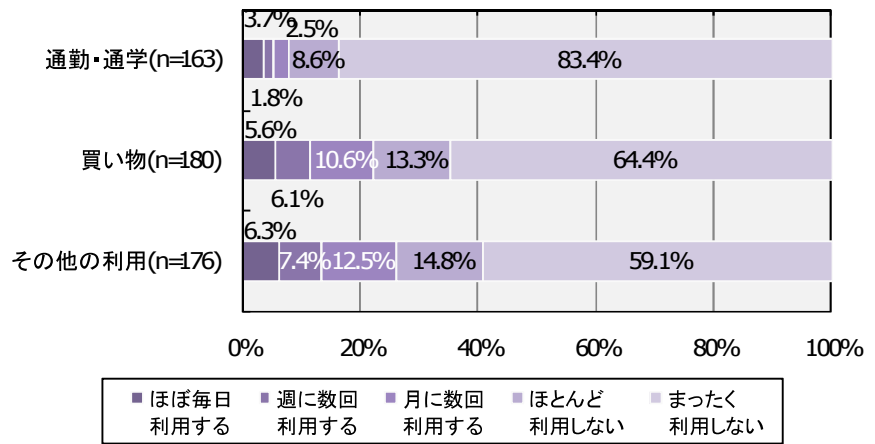
（地区外）



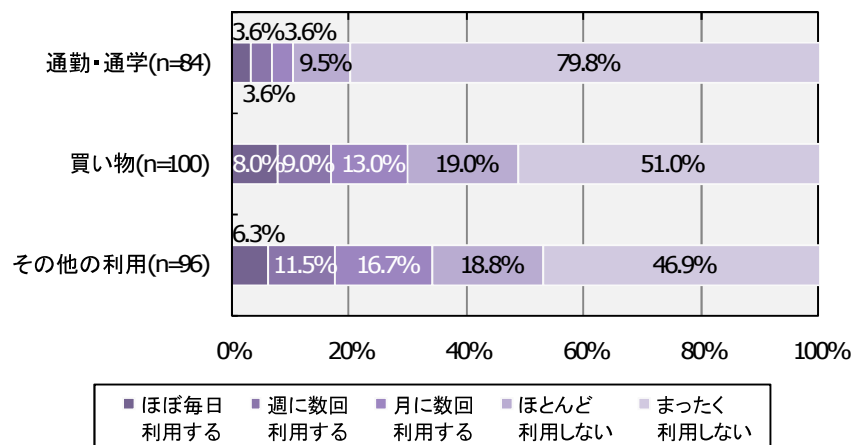
■自転車・バイク

【利用頻度】

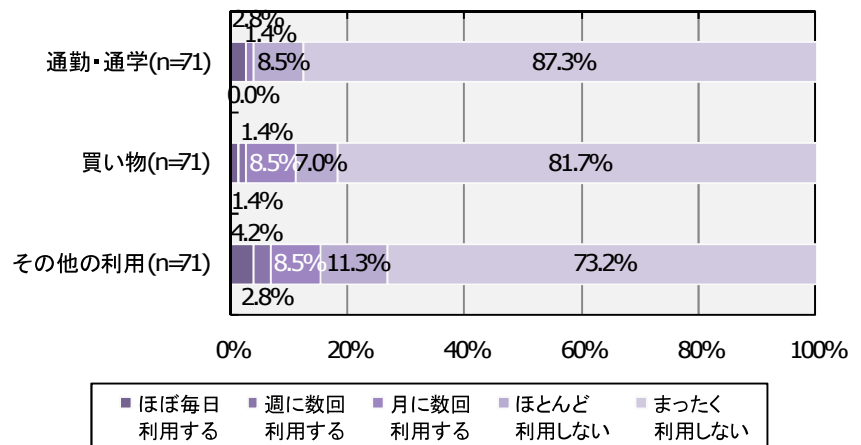
(全体)



(地区内)



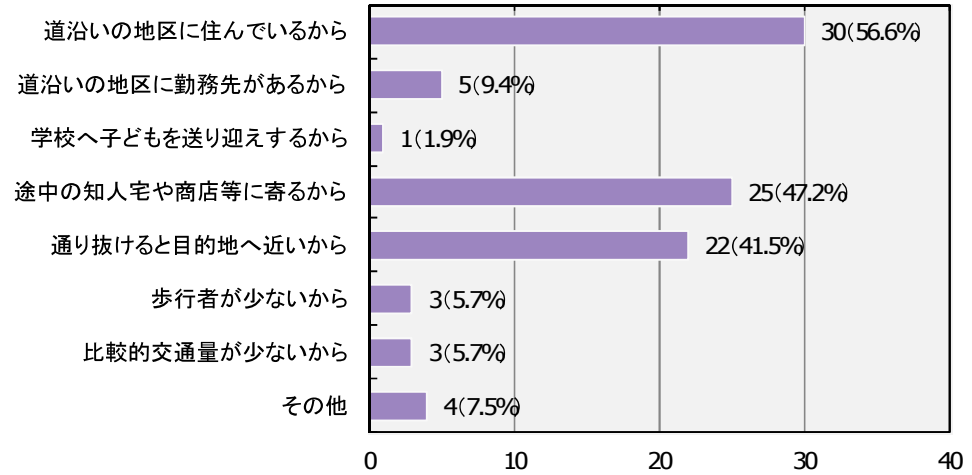
(地区外)



【利用する理由（複数回答）】

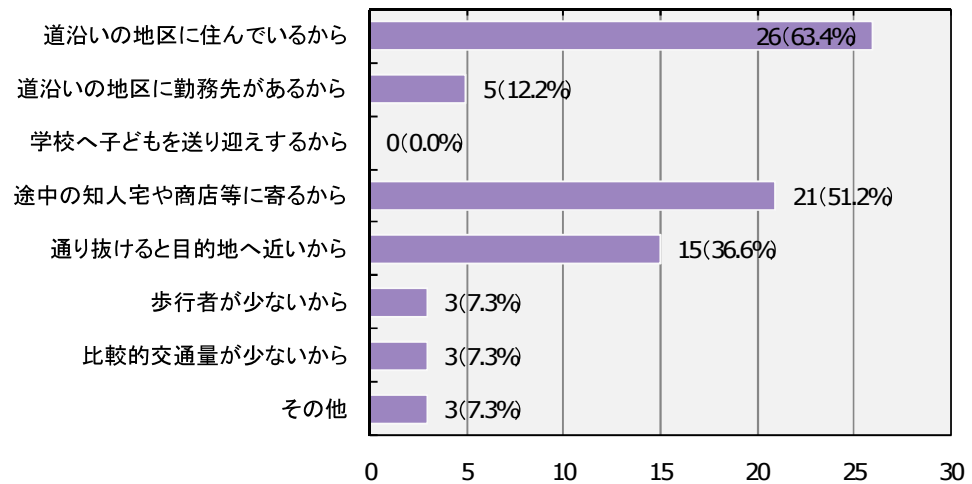
（全体）

（n=53）



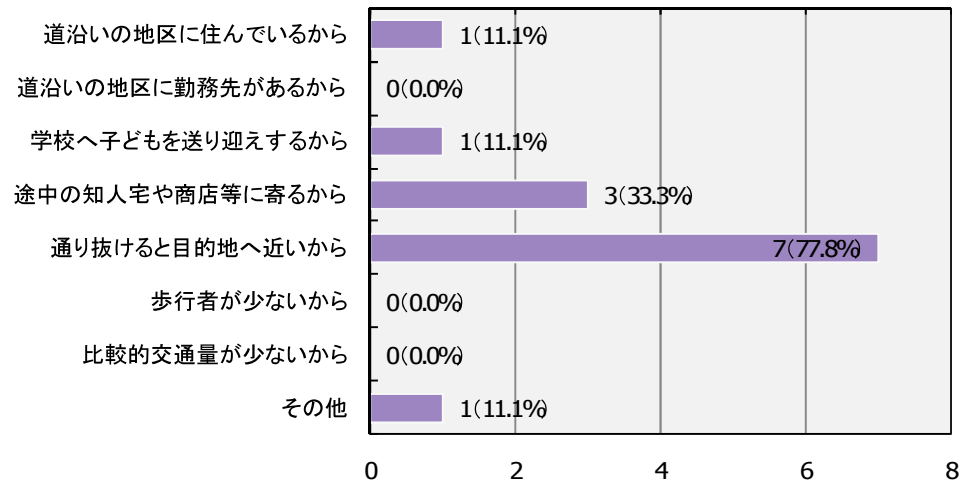
（地区内）

（n=41）



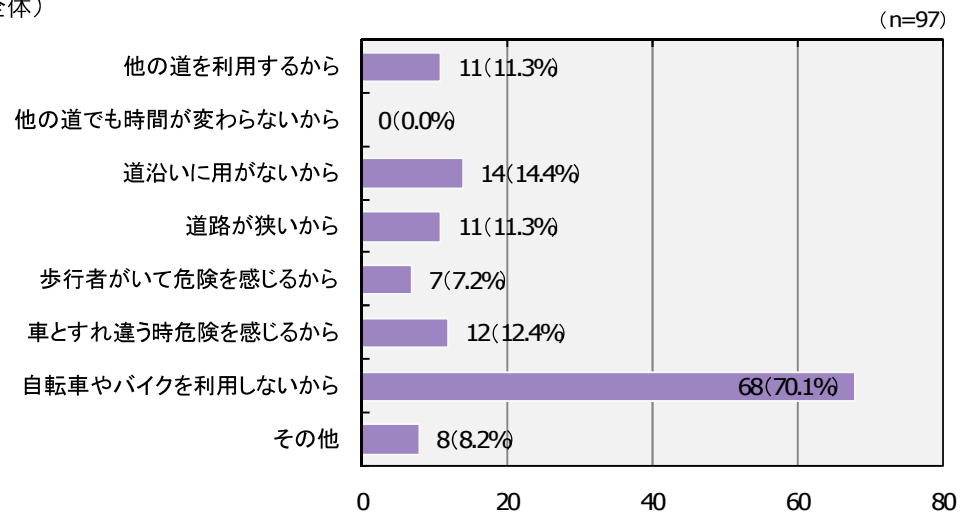
（地区外）

（n=9）

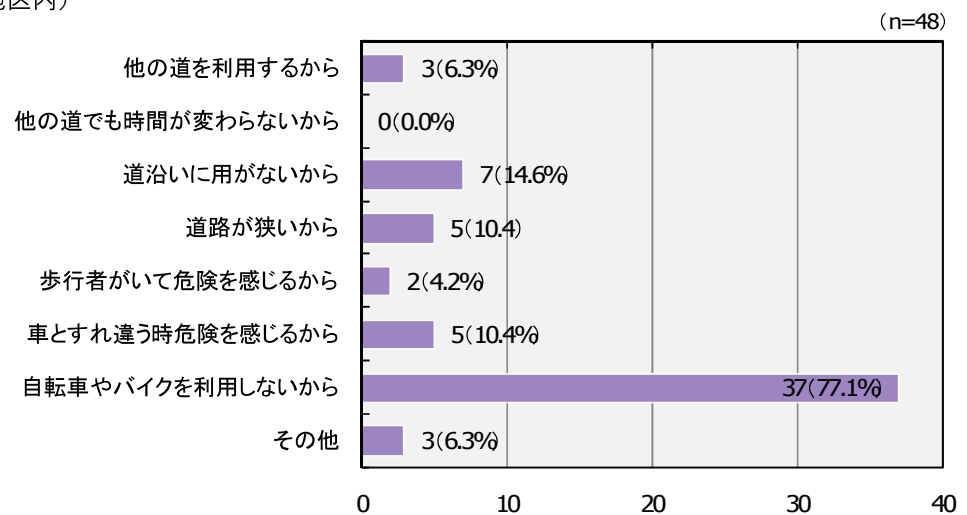


【利用しない理由（複数回答）】

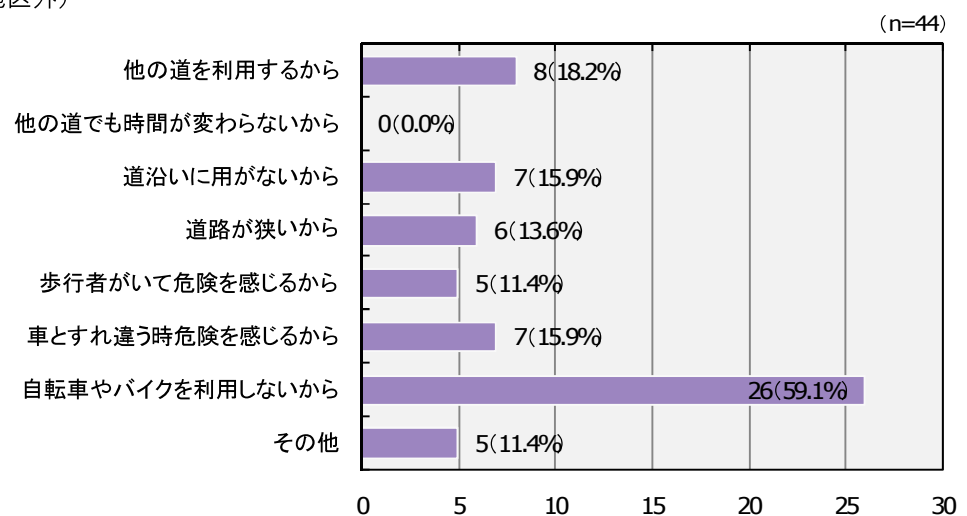
（全体）



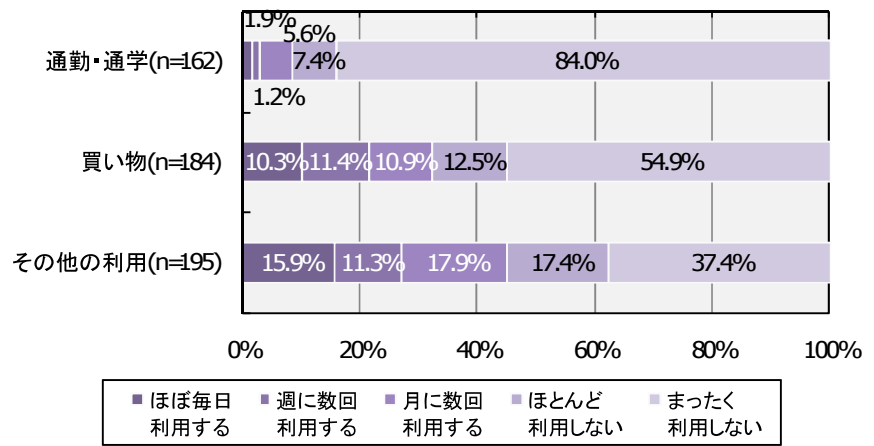
（地区内）



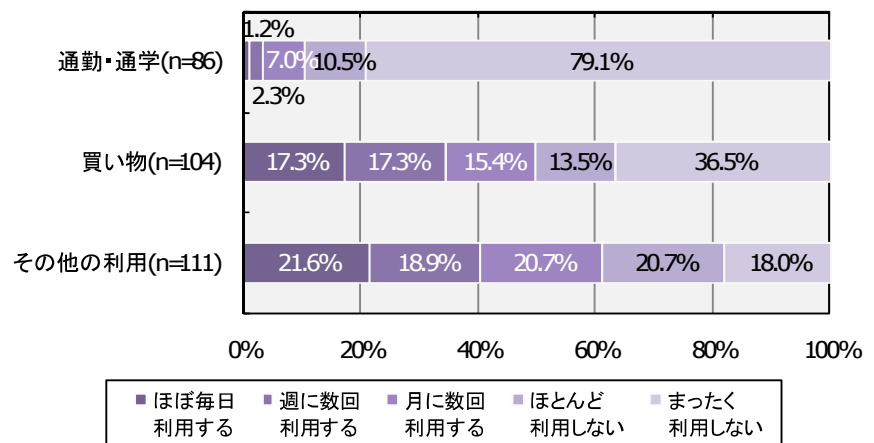
（地区外）



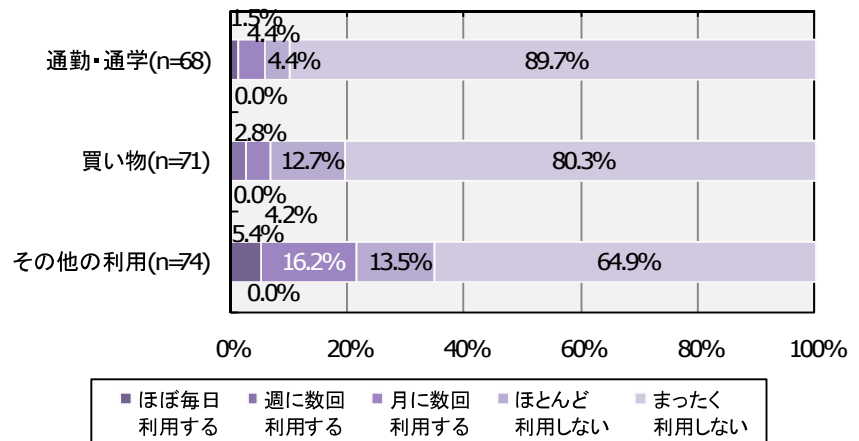
■歩行者
【利用頻度】
(全体)



(地区内)

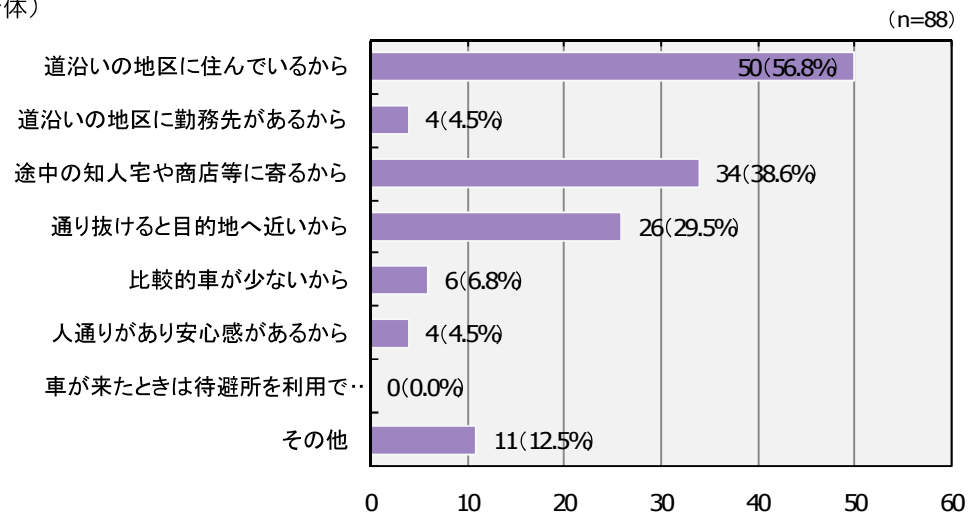


(地区外)

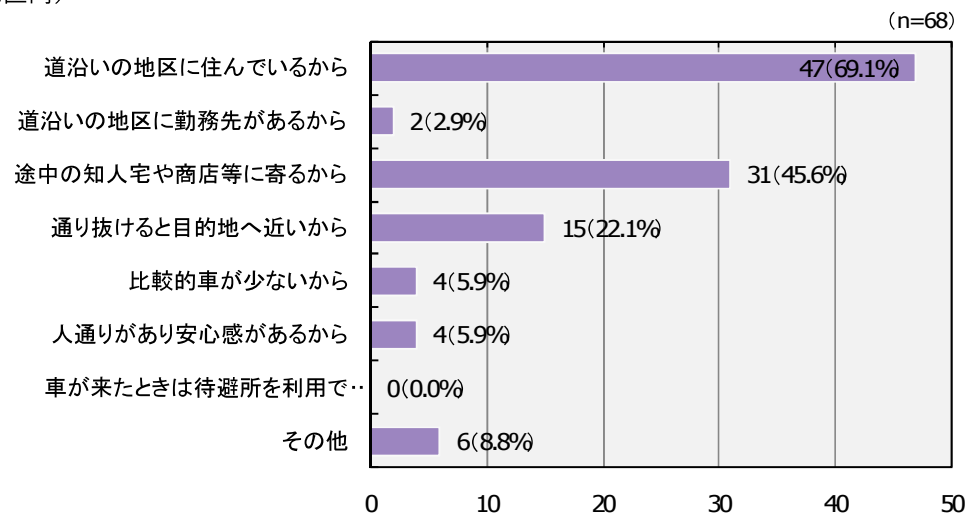


【利用する理由（複数回答）】

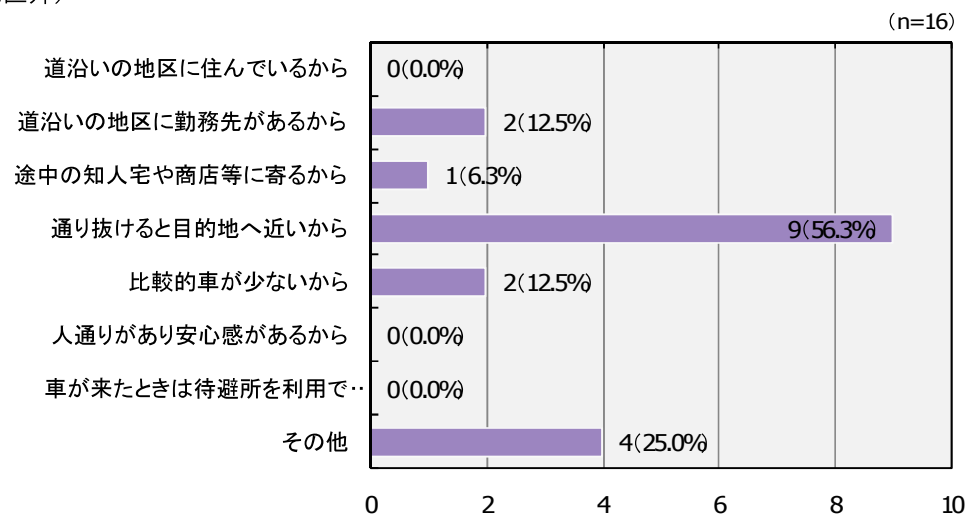
（全体）



（地区内）

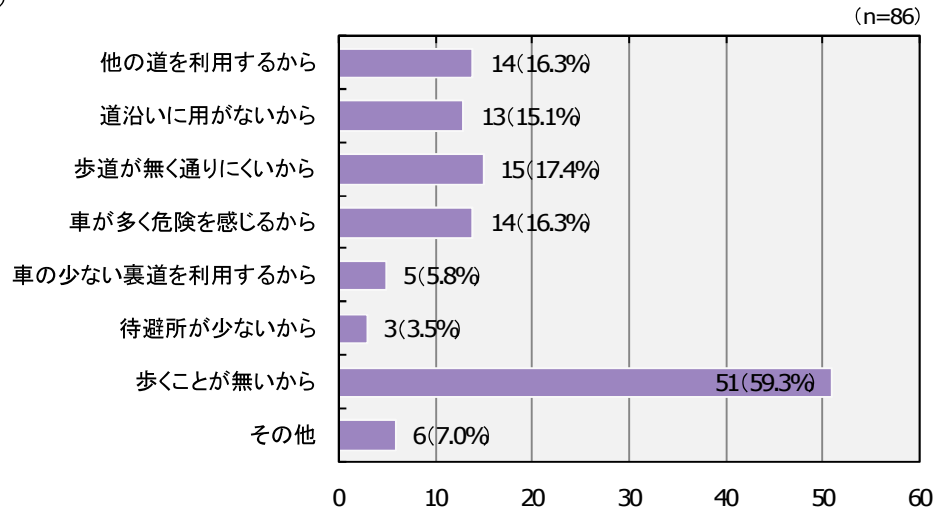


（地区外）

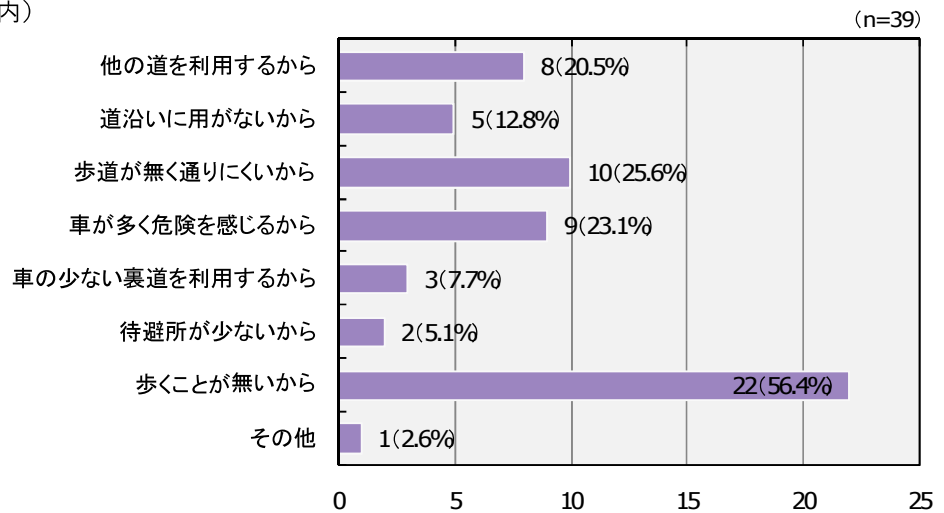


【利用しない理由（複数回答）】

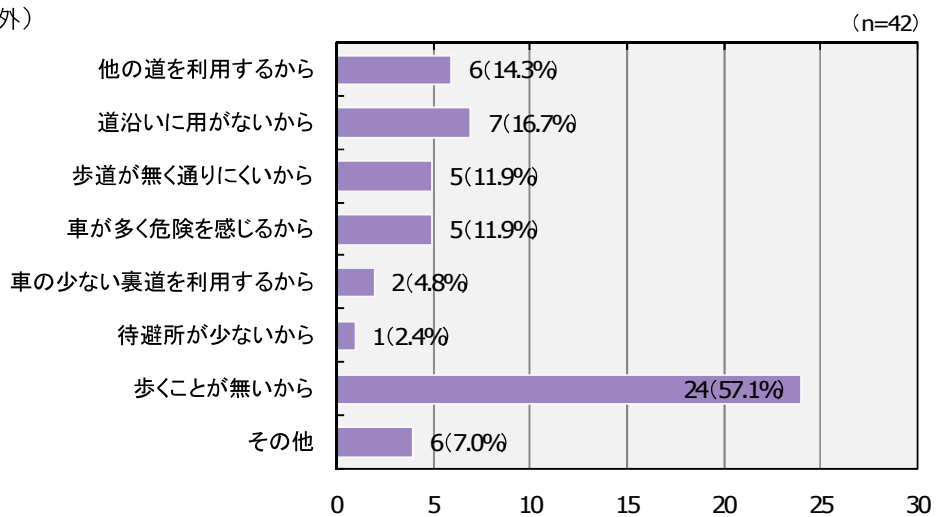
（全体）



（地区内）



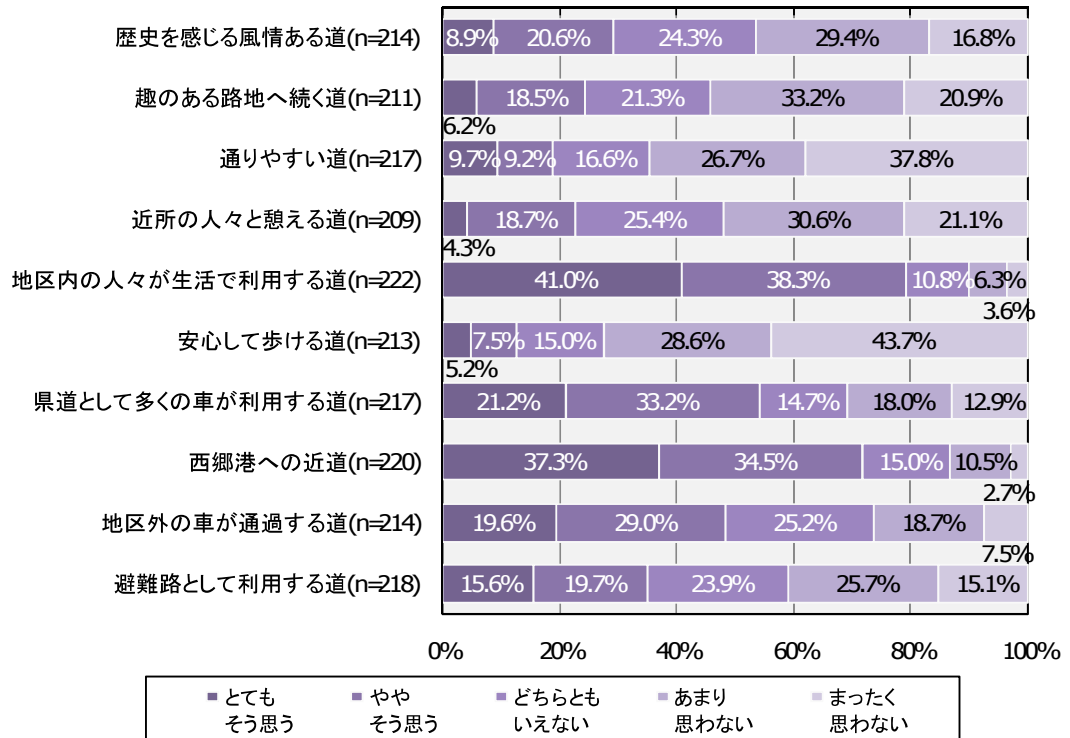
（地区外）



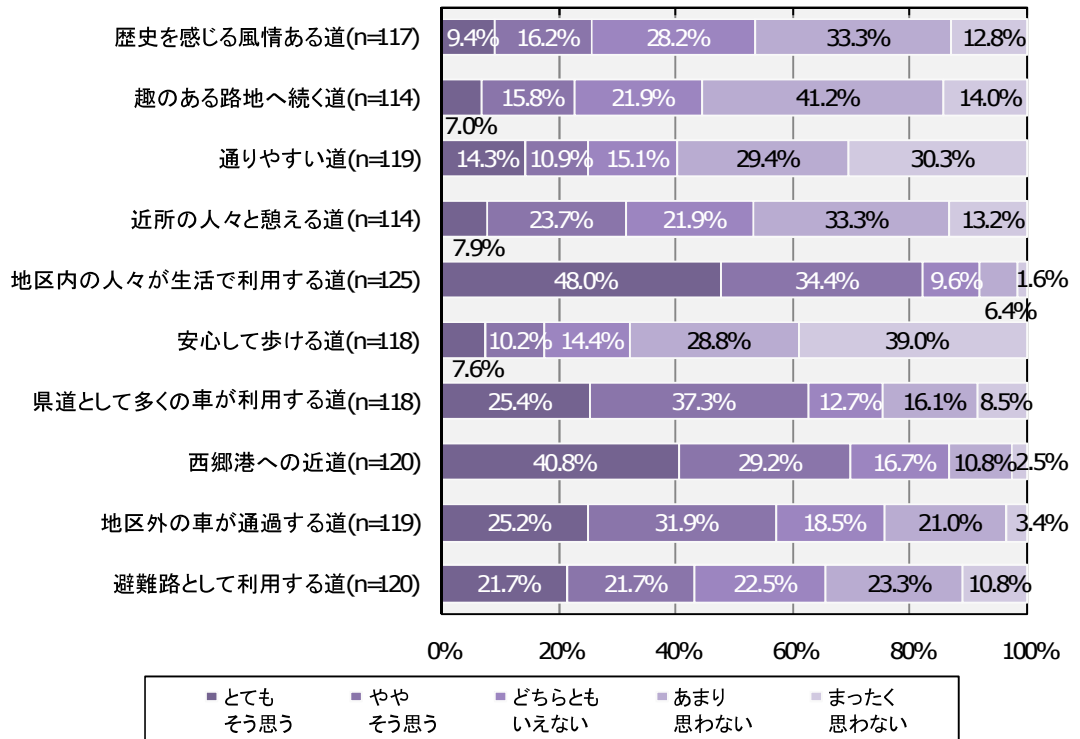
(3) 道路の位置づけについて

【現在の印象】

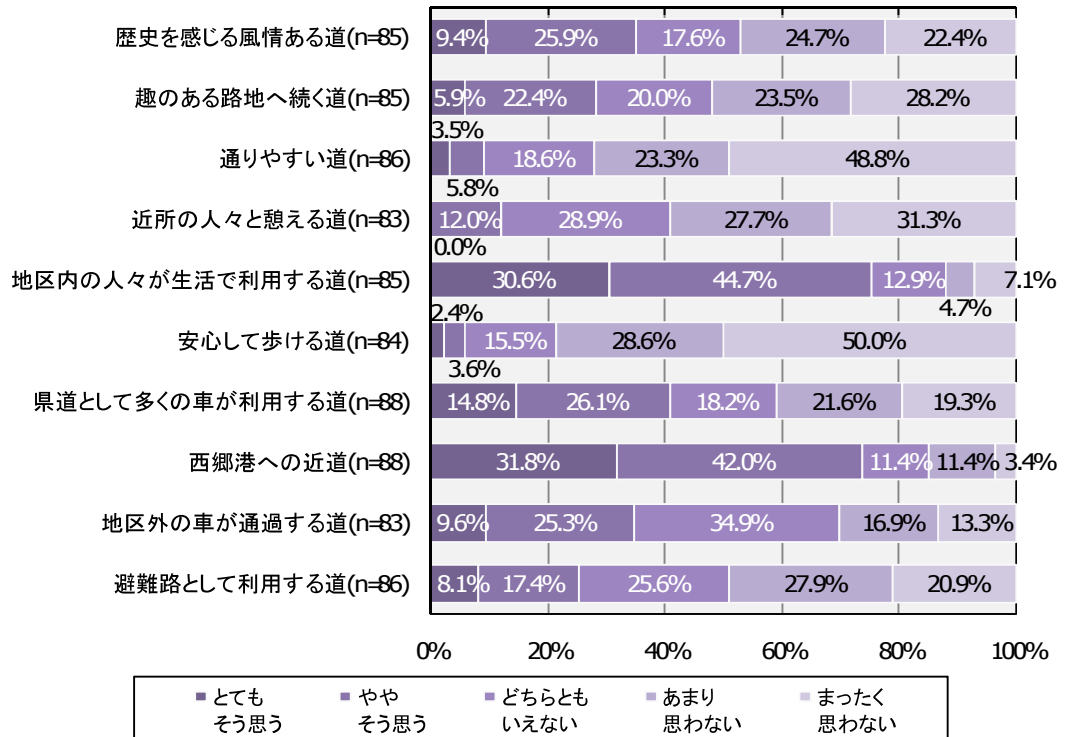
(全体)



(地区内)

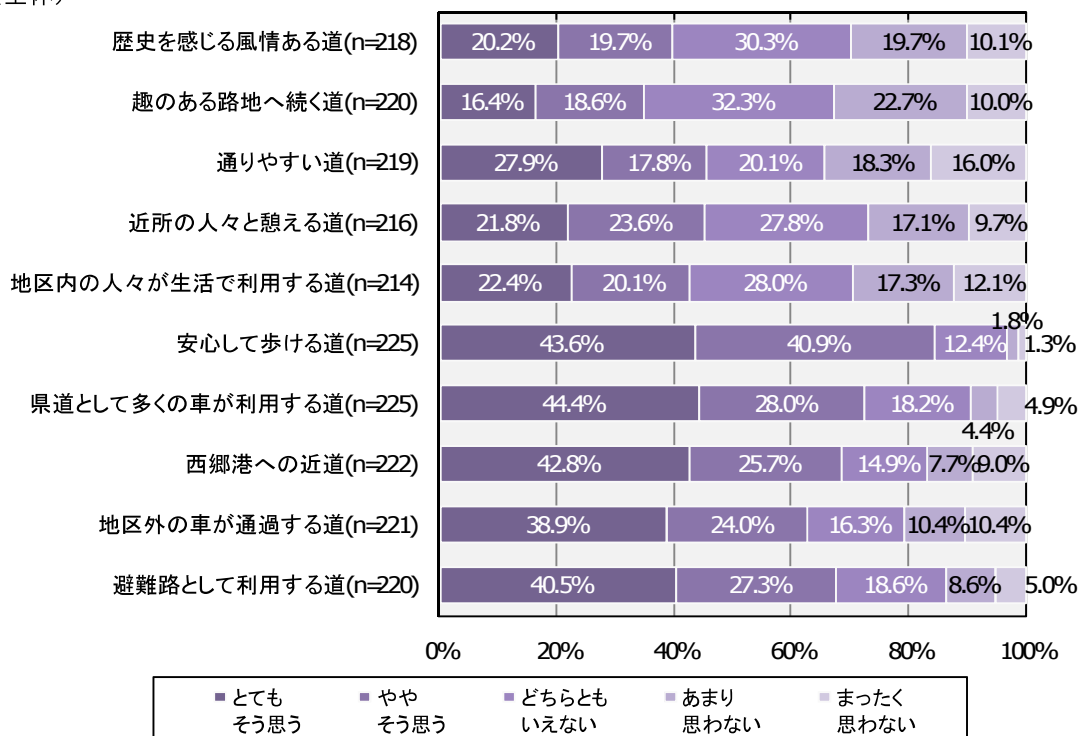


(地区外)

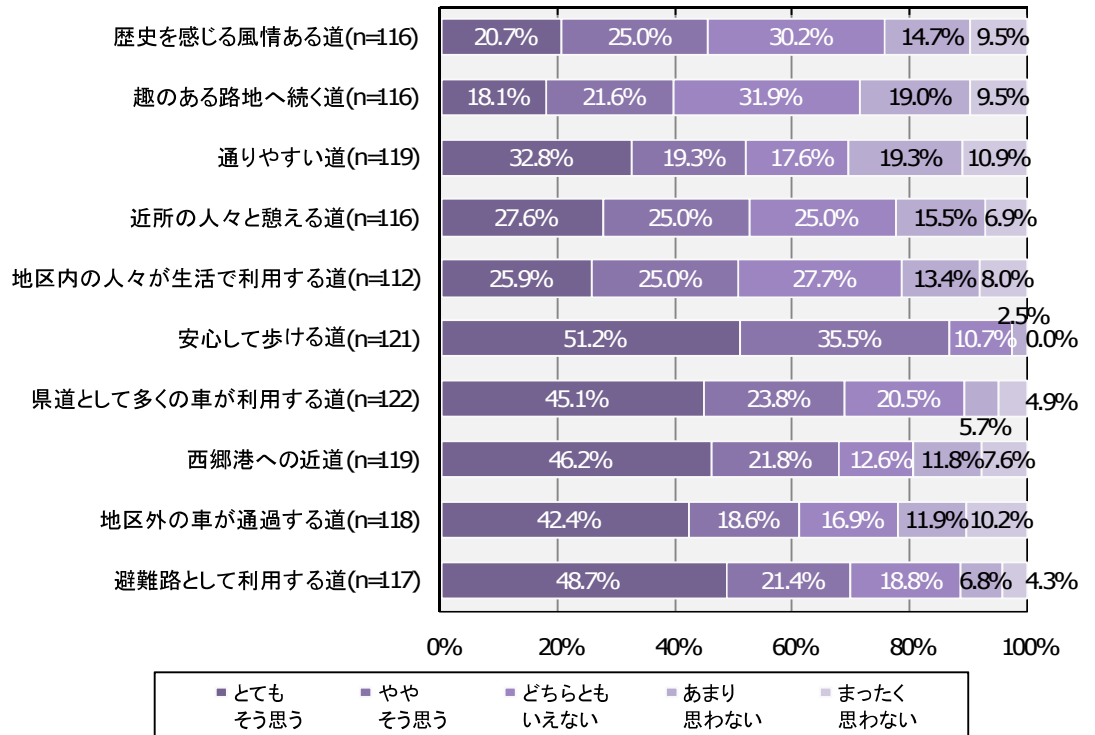


【将来の希望】

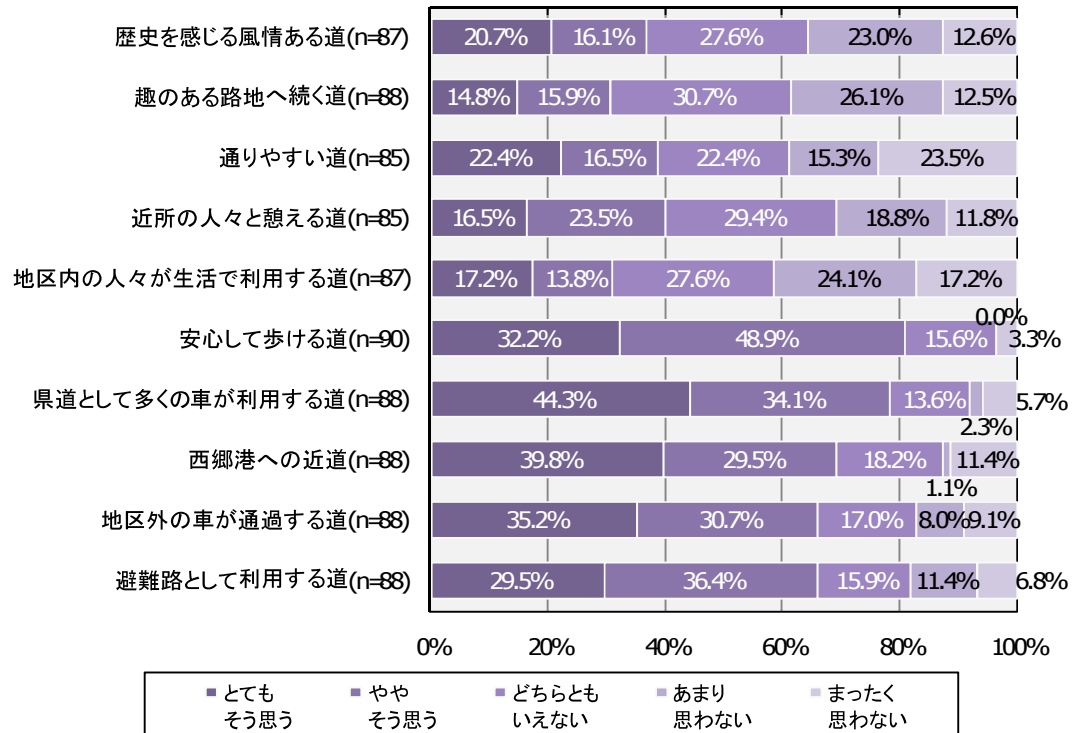
(全体)



(地区内)

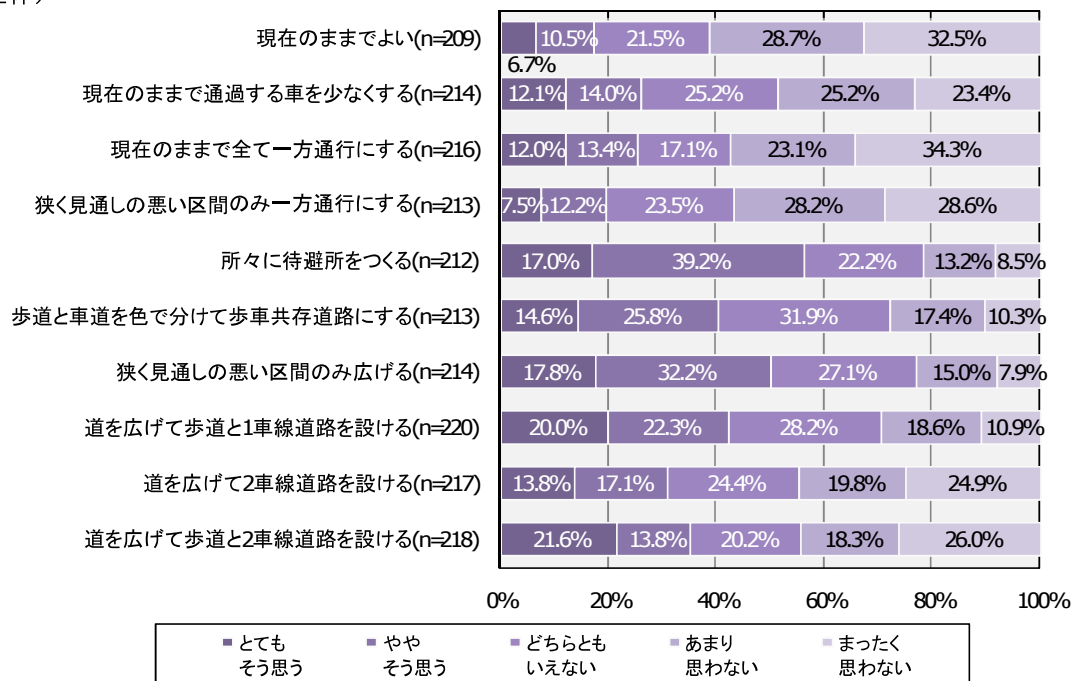


(地区外)

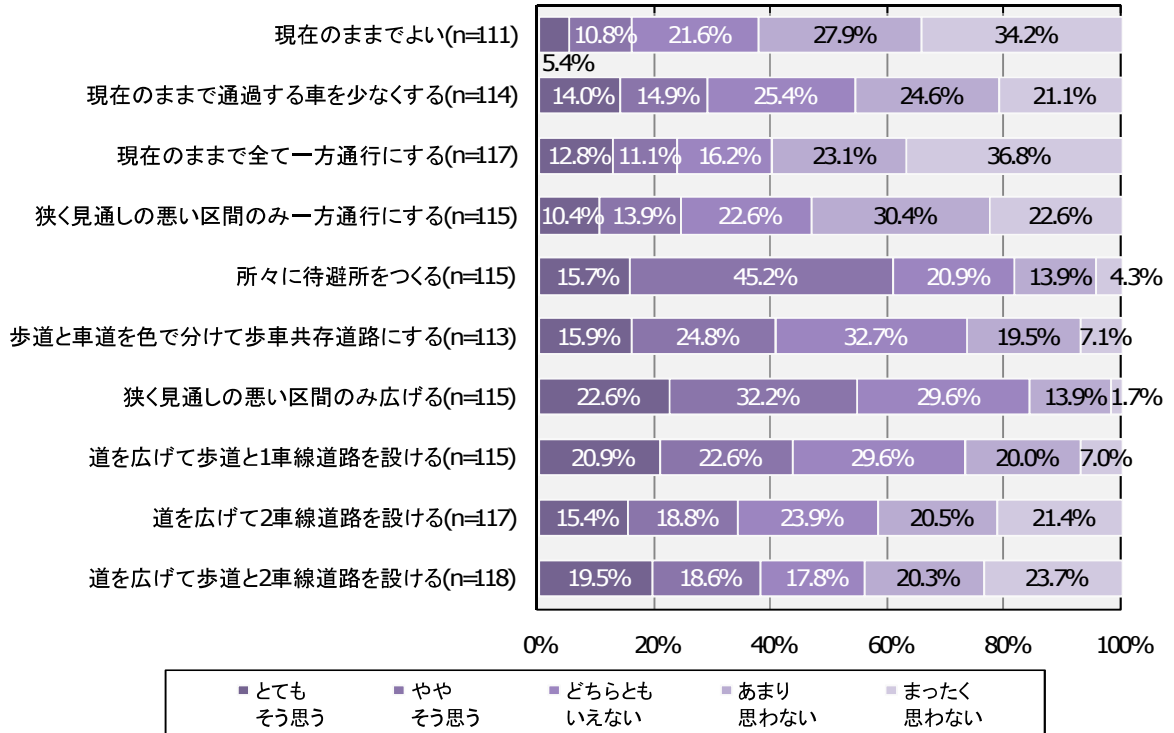


【達成方法】

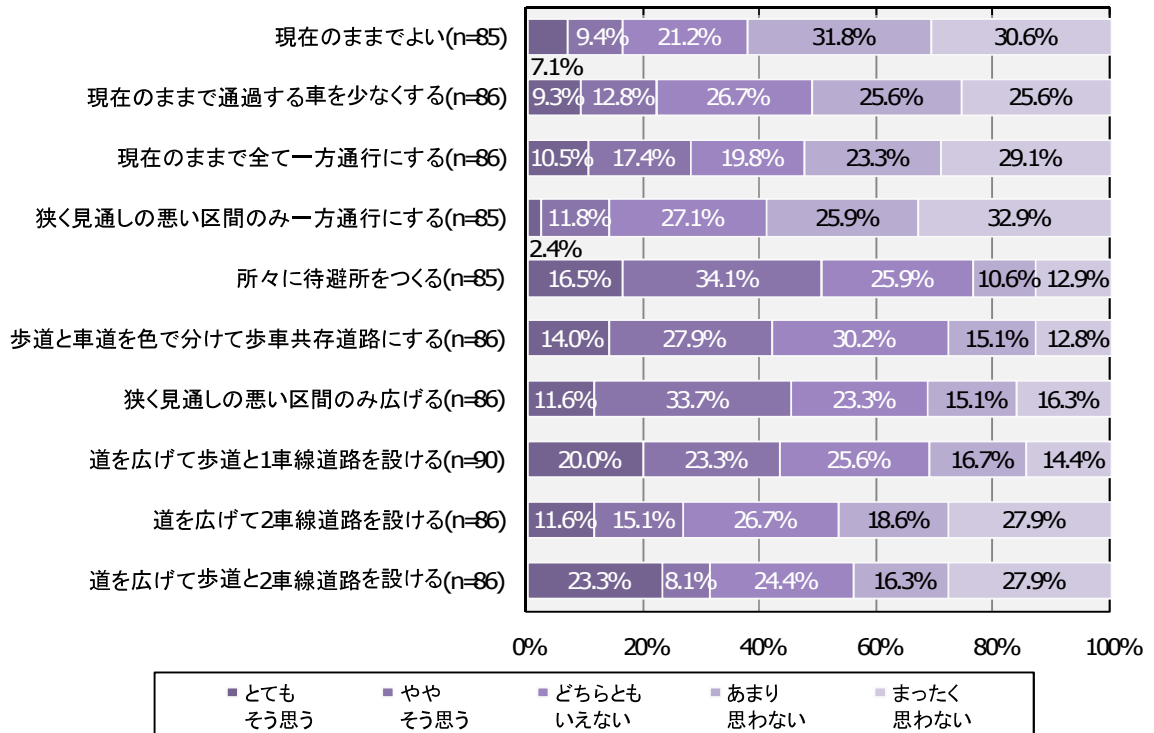
(全体)



(地区内)



(地区外)



第２回「県道 池田中町線を考える会」

参 加 者 名 簿

■委 員

氏 名	役 職	備 考
大 田 耕 士	西郷中町連合会 会長	代理出席
門 脇 範 佳	西郷東町連合会 会長	
小 田 泰 史	出雲結自治会 会長	
佐々木 隆	西郷小学校 校長	
大 西 和 彦	西郷中学校 校長	
柳 谷 英 正	隠岐の島町商工会 事務局長	代理出席
黒 澤 聡	隠岐広域連合消防本部 警防課警防係 消防指令補	
大 田 和 美	隠岐の島町警察署 交通係長	
奥 村 恭	隠岐支庁県土整備局土木工務部 部長	
井 川 善 寿	隠岐の島町建設課 課長	

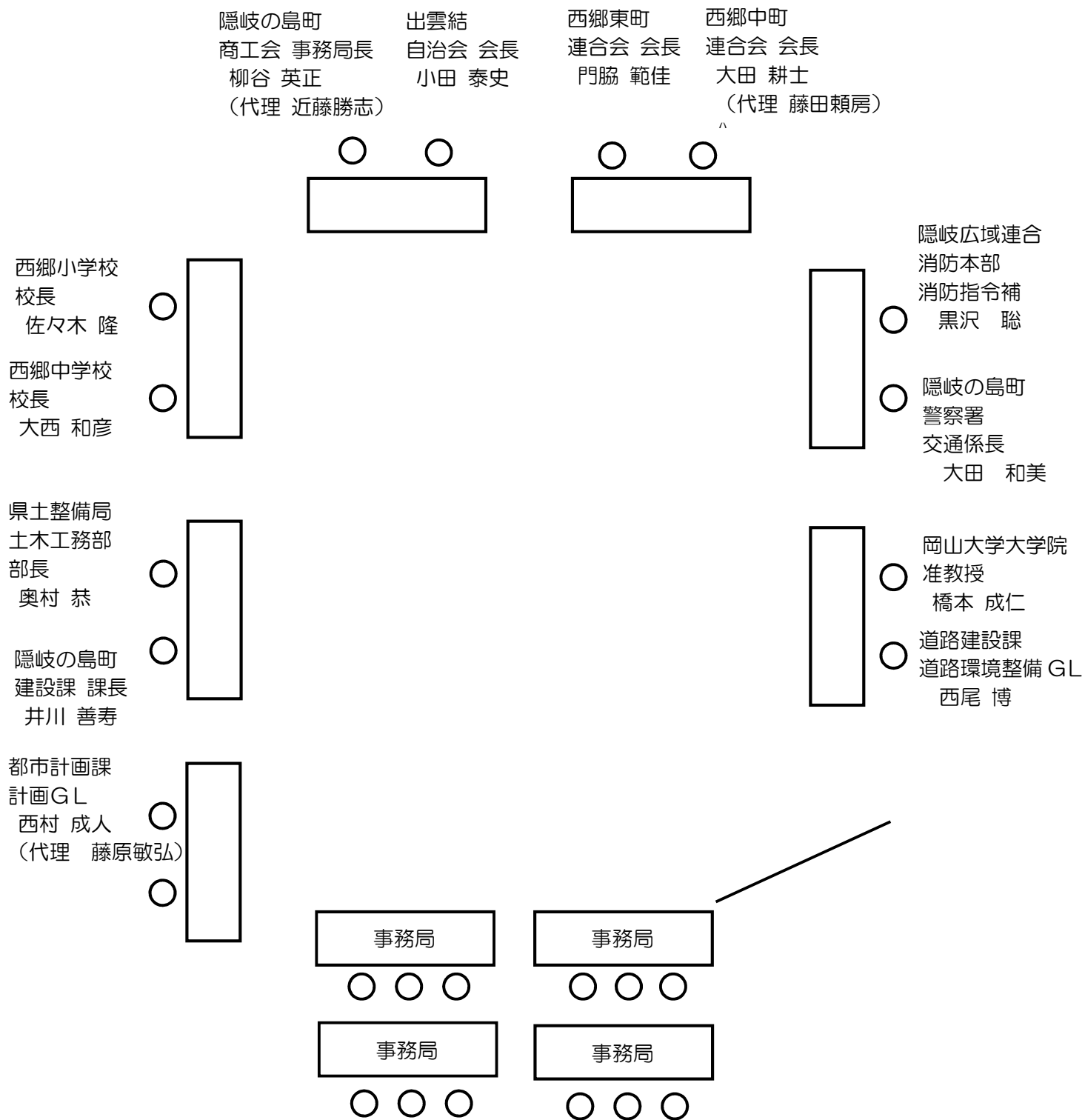
■アドバイザー

氏 名	役 職	備 考
橋 本 成 仁	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授	
西 村 成 人	都市計画課計画グループ グループリーダー	代理出席
西 尾 博	道路建設課道路環境整備グループ グループリーダー	

■事 務 局

氏 名	役 職	備 考
藤 原 敏 弘	都市計画課計画グループ 企画員	
神 田 孝	道路建設課県道建設グループ 企画員	
槇 原 進	隠岐県土整備局企画調整スタッフ 調整監	
永見 健 二	隠岐県土整備局企画調整スタッフ 企画幹	
錦 織 等	隠岐県土整備局土木工務第二グループ 課長	
成 相 剛	隠岐県土整備局土木工務第二グループ 副課長	
田 中 亮 一	隠岐県土整備局土木工務第一グループ 主任	
田 中 秀 喜	隠岐の島町建設課 管理住宅係長	
石 田 傑	隠岐の島町建設課 管理住宅係主幹	
八 幡 貴 之	隠岐の島町建設課 管理住宅係主幹	
鐘 築 一 雄	株式会社アテナ 代表取締役	
上 田 泰 子	株式会社アテナ 主任研究員	
塩 田 暁 伸	株式会社アテナ 研究員	

席 次



歩車共存道の整備事例について（一般県道海士島線）

1. 歩車共存道とは

早期に安全な歩行空間の確保・歩行環境の整備を目指し、極力コストを抑え、地元の了解を得たうえで、現在の道路幅の中で路肩部の整備、カラー舗装等による整備を行うもの。

2. 整備事例

①菱浦工区

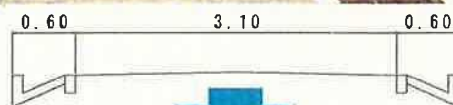


施工箇所: 隠岐郡海士町大字福井
 延長: L=890m
 事業費: C=95百万円
 事業期間: H20年度～H21年度
 平成22年3月完成

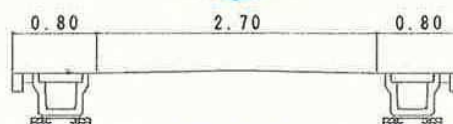
みなみ



【整備前】



【整備後】



②御波工区

施工箇所: 隠岐郡海士町大字御波
 延長: L=600m
 事業費: C=20百万円
 事業期間: H21年度
 平成22年5月完成



③完成後の道路利用者の声

～ドライバーの声～

- ・車両幅員が強調されて、運転しづらくなった(減速するようになった)。

～歩行者の声～

- ・通行車両の速度が、今までと比べ遅くなったような気がする。
- ・カラー舗装してくれたおかげで、街並みが綺麗になった。
- ・側溝の整備(L型側溝→蓋付きの側溝に整備)により安心して歩けるようになった。

④工事担当者の感想

～良かった点～

- ・カラー舗装により、車道と歩道が分離され、自動車の走行速度を自然と抑制することが出来、歩行者にとって安全かつ安心な通行空間を短期間で創出する事が出来た。

～課題～

- ・補修費が通常のアスファルト舗装と比較し割高となる。
- ・カラー舗装をしたことにより、舗装破損(亀裂等)の状況がわかりにくくなった。

